

取扱説明書

溶剤インク カラーインクジェットプリンター

IP-6620



Copyright© 2013株式会社沖データ 無断転載を禁じます。 本書の内容は、断りなく変更することがあります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

「JISC61000-3-2 適合品」

JISC61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性一第3-2部:限度値一高調波電流発生限度値(1相 当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製 造した製品です。

 警告
 紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、 罰せられます。
 関連法律
 刑法 第148条、第149条、第162条
 通貨及証券模造取締法 第1条、第2条等

はじめに

このたびは、IP-6620 溶剤インク カラーインクジェットプリンター(以後、本機と呼びます)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

IP-6620 は 64 インチ幅のメディアに対応する、USB2.0 インターフェース搭載、溶剤インクを採用した カラーインクジェットプリンターです。

本機には、プリントヘッド搭載数の違いにより6色仕様、7色仕様の2つの仕様があります。

本書では、IP-6620の7色仕様をモデルとして説明しております。個別に説明が必要な部分には、その つど明示しています。

本書、**「IP-6620 溶剤インク カラーインクジェットプリンター取扱説明書」**は、本機の特徴や機能、 印刷の手順などの本機を使用するための情報が記載されている説明書です。またトラブルの解決法な ども記載されていますので、目的に応じて各章をお読みください。

本書に記載の次の事項は、本機を正しく安全にお取り扱いいただくために、本機をご使用になる前に必ずお読みください。

- ・安全にお使いいただくために
- ・納入品
- ・マニュアルの表記について
- ・使用条件

また本書は、いつでもお読みいただけるよう手元に置いてお使い下さい。

きれいに印刷するために

きれいな画質で印刷し、末永く本機をお使いいただくために、以下の3点をお守りください。

① メディアを正しくセットしてください。

② 送り調整値や往復調整値を適切に調整してください。

③ メンテナンスを正しく行ってください。



① メディアを正しくセットしてください。



メディアを正しくセットしないと・・・

スキューやプリントヘッドこすれの原因になり、きれいな画質で印刷することができません。



【基本イメージ】





メディアのスキューにより、 左右の色が変わってしまいます。



プリントヘッドのこすれにより、 印刷物を汚してしまいます。

本機は、メディアセットを楽に行うための工夫がされています。



② 送り調整値や往復調整値を適切に調整してください。



新しいメディアを使うときに、これらの調整を行わないと・・・

インクの着弾位置がずれてしまい、きれいな画質を出せません。

【基本イメージ】







送り調整を正しく行わないと、バンディング(黒スジ や白スジ)が出てしまいます。



往復調整を正しく行わな いと、粒状感が悪化し、画 像がぼやけてしまいます。

本機には、調整を楽に行うための 工夫がなされています。



③ メンテナンスを正しく行ってください。



本機を汚れたままで使い続けると・・・

きれいな画質をだせないばかりか、故障の原因になってしまいます。



CP_Managerを使うことで・・・

メンテナンスを楽に行うことが出来ます。



まずはじめに



リ34ページ

日常行う点検・保守(日常メンテナンス)



こんな時は・



交換・トラブルシューティング

消耗品を交換する 下記ページを参照して正しく交換してください。



目次

はじめに	3
目次	. 12
安全にお使いいただくために	. 14
マニュアルの表記について	. 19
納入品	.20
使用条件	.21
 ◆ 設置スペース/保守スペース ◆ 使用環境 	21 22
本機ソフトウェアにおける FFTSS ライ ラリに関する記載事項	ブ .23

印刷する前に知っておきたいこと

谷部の名称とはたらさ	26
◆ 本機前面 (排紙側)	26
◆本機背面 (給紙側)	27
◆本機内部	28
◆ 操作パネル	29
◆ LCD 表示	
◆ ヒーター	
主電源のオン / オフ手順	32
◆ 電源オン手順	32
◆ 電源オフ手順	34
USB ケーブルを接続する	35
オンラインとオフライン	
オノブリノCオノブリノ	
オンライン	
 オンライン オンライン オフライン 	
 オンライン オンライン オフライン CP_Manager について 	
 オンライン ◆オンライン ◆オフライン CP_Manager について 印刷できるメディアの特徴 	
 オンライン オンライン オフライン CP_Manager について 印刷できるメディアの特徴 毎ビ 	
 オンライン オフライン CP_Manager について 印刷できるメディアの特徴 ◆ 塩ビ ◆ ターポリン 	
 オンライン オフライン CP_Manager について 印刷できるメディアの特徴 	
 オンライン オフライン CP_Manager について 印刷できるメディアの特徴 ▲ はビ ◆ ターポリン ◆ ターポリン (ライナー付き) ◆ 電飾ターポリン (FF) 	
 オンラインCオンワイン ◆オンライン ◆オフライン CP_Manager について 印刷できるメディアの特徴 ◆ 塩ビ ◆ ターポリン ◆ ターポリン ◆ メッシュターポリン (ライナー付き) ◆ マルベント用コート紙 	

メディアをセットする

メディアを本機に取り付ける	.42
◆ ロールメディアの取り付け手順	42
◆ メディアの残量管理を行う場合	49
◆ 透明なメディアおよび、裏側が黒いメディアの	
取り付け手順	50
◆ ロールメディアが無くなり、 ロールメディアを	
交換する場合	55
◆ ジャム (メディア詰まり) で、ロールメディアを	
交換する場合	55
◆ メディア残量を設定する場合	55

巻き取り装置にメディアを巻き付ける	.56
◆ テンション巻き方式/たるみ巻き方式の設定方法	56
◆ ロールメディアの巻き付け手順	60
メディアを取り外す	.64
◆ メディア残量を印刷する方法	64
◆ ロールメディアの取り外し手順 (排紙側)	65
◆ ロールメディアの取り外し手順 (給紙側)	67
◆2インチ紙管を使用する場合	68
メディアをカットする	.69
◆ 印刷終了後にメディアをカット位置までフィード	
する手順	71
◆ メディアをカット後にメディアを印刷位置まで	
バックフィードする手順	72
巻き取り装置からメディアを巻き出す	.73

◆ 巻き取り装置に巻き付けたメディアを巻き出す手順...73

調整する

調整をする前に	. 76
 ◆ 自動印刷調整の注意事項 	77
◆ 自動印刷調整が実行できない	77
調整方法	.79
◆メディアの送り量を調整する「送り調整」	79
◆ 往復のインク着弾位置を補正する 「往復調整	85

メンテナンス

日常メンテナンス	92
毎日のメンテナンス	93
A メディアセット	93
B 開始前のメンテナンス (ワイパーブレー	ド
の汚れチェック、キャッピングユニット	の
清掃、クリーニング)	93
◆ ワイパーブレードの汚れチェック、キャッピング	
ユニットの清掃とクリーニングを同時に行う手順.	93
◆ クリーニングを個別に行う手順	97
C ノズルプリント	99
◆ ノズルプリントの実施チェック	99
◆ ノズルマップの設定	100
◆ 自動設定の注意事項	101
◆ 自動設定でエラーが発生する場合	107
D 廃インクボトルのチェックと交換	.109
E ワイパークリーニング液のチェックと交換.	111
F ワイパーブレードの汚れチェックと交換	. 113
プリンターのメッセージがあるときの	
メンテナンス	116
G リイハー人ホンン父 ???	. 116

121
121
127
127
131
131
133
136

詳細な取り扱い方法

2週間以上、本機を使用しない時	138
◆ サービスクリーン	139
◆ ヘッドウォッシュ	142
◆ ヘッドワオツンユ後のインク允県	146
プリンターの情報を確認する	149
◆ インクの残量を確認したい	149
◆ ブリンター情報を見たい	151
◆ メデイアの残重を確認したい	152 154
◆ USB の接続状態を確認したい ▲ シフテム F/M のバージョンを確認したい	IJ4 155
 ◆ プリンターの走行距離を確認した() 	155
メディアの取り扱い	
◆ メディアを登録したい	158
◆ 左右の余白をできるだけなくしたい	161
◆ メディアの張り付きやしわをなくしたい	164
◆ メディアの浮き上がりを防止したい	168
◆ 厚いメディアに印刷したい	170
◆ 印刷物のミスト汚れを防ぎたい	173
◆オートクリーニングのタイミングを変えたい	175
 ◆ 登録されているメディアをコピーしたい ◆ メディアをセットし直さずに、 	177
登録したメディアの種類を切り替えたい	178
◆ メディアを送りたい/戻したい	179
◆ 印刷の書き出し位置を移動させたい	180
◆ 原点設定モードの解除	181
◆印刷が始まる直前に前の余白を調節したい.	182
◆ 印刷の書き出し位置(余日量)を固定にした	-CN . 183
◆ 印刷中にメディアエツンカードをセットし直した ▲ 印刷中にメディアの触た小し声したい	100. 186 100
リノターの使い方	189
プリンターの設定をする	190
◆ 警告音を鳴らさないようにしたい	190
クリーニングオプション	192
◆ プリントヘッドを選んでクリーニングしたい.	192
送り調整値の管理	194
◆印刷中に送り調整値を変更する	194

印刷条件について	195
◆「インサツモード」設定	195
◆「キャリッジソクド」 設定	196
◆ 印刷速度について	197
ヒーターの設定をする	198
◆ ヒーター温度設定の流れ	198
◆ ヒーターコントロールメニューの表示	199
◆ ヒーターコントロールメニューのキー操作	199
◆ ヒーターコントロールメニューの表示を終了する	. 200
◆ 初期値温度を設定する	. 200
◆ ディレイ時間を設定する	202
◆ スタンバイ時間を設定する	203
印刷中にインク切れになったとき	204
◆ インクカートリッジの装着・交換	205
本機を移動させたいとき	208

困ったときは・・・

故障?と思う前に	. 210
メディアジャムの処理のしかた	. 213
エラーメッセージが表示されたとき	. 215
スキューが検出されたとき	. 224
警告メッセージが表示されたとき	. 225
印刷抜け(ノズル詰まり)を回復させる。	. 227
◆ 強力クリーニング	
◆ フィルキャップ	229
こんな症状が出たら	.230
◆ 印刷が薄い	230
◆ 印刷がかすれる、ざらつく	230
◆ 印刷開始時に印刷抜けが発生する	230
◆ メディアにシワ・カールが発生する	231
◆ 印刷物に白スジが入る	232
◆ 印刷物に黒スジが入る	234
◆ 印刷物に汚れが入る	236
◆ 印刷物に二ジミが入る	238
◆ 印刷物の端に縦スジが入る	240
◆ 印刷物の左右で異なるスジが入る	241
◆ 印刷物に縦縞が入る	242

メニューツリー

ふろく

基本仕様	254
消耗品	255
オプション	258
サービス拠点	259



本書では、本機を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意を喚起しています。

これらの記号の意味は次のとおりです。内容をよく理解して、これらの記号が表示されているところの記 載事項については、必ずお守りください。

⚠警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いを すると、人が死亡または重傷を負う可能性が想 定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いを すると、人が傷害を負う可能性が想定される内 容および物的損害のみの発生が想定される内容 を示しています。

絵表示の例



 ▲ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを 告げるものです。
 左の表示例は安全上の「警告または注意事項」があることを表しています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左の表示例は「分解禁止」を表しています。



● 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。 左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表してい ます。

この装置は、子供がいる可能性が高い場所での使用には適していません。

🕂 警告 必ず、下記の警告事項をお読みになってからお使いください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで ください。また、タコ足配線をしないでください。 火災や感電の原因になります。 本機をアース接続してください。アース接続さ



本機をアース接続してくたさい。アース接続されないで使用しますと、万一漏電した場合は火 災や感電の原因になります。



電源コードを接続するときは、電源プラグを根 元まで押し込んでください。また、電源コード をはずすときは、プラグ部またはコネクタ部を 持ってください。コードを引っ張るとコードに 傷が付き、火災や感電、故障の原因になります。

変換プラグは使用しないでください。



本機を分解したり、改造したりしないでくださ い。事故や故障の原因になります。



湿気の異常に多い場所や水などの液体がかかる 可能性のある場所では、絶対に使用しないでく ださい。火災や感電や故障の原因になります。



本機の内部やすき間に、金属片を落としたり、 水などの液体をこぼさないでください。火災や 感電、故障の原因になります。

家 濡れた ずした ます。

感電、故障の原因になります。 濡れた手で、電源コードなどを接続したり、は ずしたりしないでください。感電の原因になり 次のような場合は、電源を切り、電源プラグをコ ンセントから抜いて、販売店またはサービス拠点 に修理をご依頼ください。異常状態のまま使用す ると、事故や火災の原因になります。また、お客 様による修理は危険ですから絶対にお止めくださ い。

- ◇ 異臭がする、発熱した、煙が出た、または異常音が発生したとき
- ◇本機の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入ったとき
- ◇ サービス拠点で対処する異常が発生したとき

インクカートリッジは、絶対に火気に近づけないでください。引火した場合は、火災の危険があります。

インク、保管液、洗浄液、キャップクリーニング 液、ワイパークリーニング液、廃インクは飲んだ り、目の中に入らないように注意してください。 呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。 もし目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 洗い流した後、医師の手当てを受けてください。 また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出 させず直ちに医師の手当てを受けてください。



本機をぐらついた台の上や傾いた場所など不安 定な場所には置かないでください。落ちたり、 倒れたりしてけがの原因になります。



本機のヒーター部は高温になります。やけどに 注意してください。



インクカートリッジおよび廃インクボトルは、 子供の手の届かない場所に保管してください。

🕂 注意 必ず、下記の注意事項をお読みになってからお使いください



手がはさまれたり、巻き込まれたりする可動部 の周辺では、注意して作業してください。



作業場所は換気をしてください。換気しないと インクの臭いで気分が悪くなる恐れがありま す。気分が悪くなったときは、風通しの良い場 所で安静にしてください。



ロールメディアは重いので、取り扱うときは台 車などの運搬器具を使って、落としたりしない ように注意してください。足の上に落としたり すると、けがをする恐れがあります。



インクが肌や衣服に触れないように注意してく ださい。インクが肌に付着した場合は、直ちに 石鹸と水ですぐに洗い流してください。

<u> </u>注意

◆ ロールメディアは重量物ですので、保管には安全対策を施してください。ロールメディアが転がったり、倒れたりするとケガにつ ながる場合があります。

このほか、各項で示す警告、注意事項についてもお守りください。

電源についての注意

- 1. 本機はコンセント近傍に設置し、緊急時に電源プラグを抜くために、そのコンセントへは容易に手が 届くようにしておいてください。
- 2. モーターなどのノイズ発生源となる機器と同じ系路から、電源をとらないでください。
- 3. ご使用電源は、本機やオプションの仕様に合わせてお使いください。
- 4. 一ヶ月に一度は本機の電源を切り、次のような点検をしてください。
 ①電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていること
 ②電源プラグの端子やコンセントに細かい埃がついていないこと。埃は乾いた布で除去してください。

プリンター本体についての注意

- 1. 本機の上に物を置いたり肘をついたりしないでください。
- 2. 無理な力をかけたり衝撃を加えないよう丁寧に扱ってください。
- 3. 印刷中は、フロントカバーを開けたり、加圧ローラーアップダウンレバーを開放しないでください。印 刷が終了してしまいます。
- カバーの表面をベンジン、シンナーなどで拭かないでください。塗装がはげたり変質することがあり ます。また、カバーの汚れは柔らかい布などで軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水で 薄めた中性洗剤に浸した布でよく絞ってから拭き取ってください。そのまま放置すると、装置の表面塗 装がとれてしまう場合があります。
- 5. 弊社指定外の付属品、オプションの使用は、画質等に影響を与えるばかりでなく、故障の原因になり、 保守ができなくなりますので使用しないでください。

本機のメンテナンスについての注意

溶剤インクの性質上、定期点検保守を必ず行ってください。(詳細は、**ロ91ページ「メンテナンス」** 以降のメンテナンスを参照してください。)

- 1. 毎日、作業開始前は、開始前のメンテナンスを行ってください。
- 2. 以下の内容は特に注意してください。
 - ワイパークリーニング液がない場合には交換してください。
 - プリントヘッドは、精密機器です。ノズル面の直拭きはしないでください。
- 3. 本機を長時間(2週間以上)電源断状態で放置する場合は、サービスクリーンを行ってください。
- サービスクリーンを行い、本機が放置され、再びプリントする場合には、必ずヘッドウォッシュとイン ク充填を行ってください。
- 5. 本機は定期的に自動でメンテナンス動作を行います。本機がメンテナンス動作を行えるように常にプリンタの状態を保ってください。

消耗品についての注意

- 1. 指定のインクを使用してください。指定のインク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担となります。
- 2. インク、洗浄液セットおよび保管液セットには、品質確保のため使用期限が設定されています。それ ぞれの消耗品については使用期限内にお使いください。
- 3. 使用後のインクカートリッジおよび廃インクは、産業廃棄物として処理してください。また条例などで 処理方法に規制がある場合は、その規則に従って処理してください。
- 4. インクは、冷暗所に未開封の状態で保管してください。絶対に高温や直射日光のあたる場所には保管 しないでください。印刷品質が低下する場合があります。
- 5. インクカートリッジは分解・改造は行わないでください。故障の原因になります。
- 6. インクカートリッジを落としたり、強く叩いたりしないでください。インクが漏れる場合があります。

■ メディアの種類

以下に示す種類の溶剤インク用市販メディアをご使用いただけます。ただし、設置環境やメディアのロットなど により、印刷条件が変わる場合があります。事前に印刷テストをすることをお勧めします。 詳しくは、弊社営業所または、代理店にお問い合わせください。

- 塩ビ
- ターポリン
- メッシュターポリン (ライナー付き)
- 電飾ターポリン (FF)
- ソルベント用コート紙

■ メディア保管上の注意

- メディアを保管する際は、開封前/開封後に関わらず、直射日光や水濡れを避け、ほこり等が付かな いよう梱包箱(袋)に入れて冷暗所にて保管してください。
- 急激な温湿度変化を避け、結露しないように保管してください。
- 立てた状態で保管すると、ロールの自重によって巻きずれが起こったり、メディア端部が傷つく場合がありますので、ご注意ください。
- ロールを積み重ねないでください。
- ロールメディアは重量物ですので、保管には十分な安全対策を施してください。 ロールメディアが転がったり、 倒れたりするとケガにつながる場合があります。

■ メディアを廃棄する際の注意

● メディアおよび印刷物を廃棄する際は、廃棄地域の実態に合わせて、分別、回収、廃棄処理してください。 また条例などで処理方法に規制がある場合は、その規則に従ってください。

■ メディアを使用する際の注意

- 開封した状態での温度湿度変動は避けてください。使用環境に3時間以上馴染ませてから、セットしてください。またエアコンのオン/オフによる湿度の変動にもご注意ください。
- メディアの特性上、低湿下ではカールが、高湿下ではシワが発生しやすくなります。常温常湿(23℃ 50% RH 付近)にてご使用ください。
- メディアに傷、シワ、めくれ、あるいはゴミの付着がある場合は、その部分を使用しないでください。
 特にメディアのエッジ(両端部)はメディア搬送上重要なので、傷んだメディアは使用しないでください。
 また、落下させたり、水などに濡らしたりしないでください。
 画質等に影響を与えるばかりでなく、故障の原因になる場合があります。
- 印刷面に手を触れず、余白部を持つようにしてください。手の皮脂や汗などの付着により画質が劣化する場合があります。
- セット時に、ロールに巻きずれが生じることがあります。ずれを修正してから使用してください。

■ 印刷物を取り扱う際の注意

- インクが乾燥するまでは印刷面に触れないでください。取り扱い時は余白部を持つようにしてください。 印刷後、24 時間以内は特にご注意ください。
- 印刷面をこすると色落ち、色移りします。また印刷面同士を重ねると色移りする場合がありますので 重ねないでください。
- コピーやレーザープリンターなどの印刷物と重ねないでください。インクまたはトナーなどにより貼り 付く場合があります。
- 表面を強くこすったり、引っ掻いたりした場合や、メディアを折った場合は、印刷面が剥がれることがあります。
- 水に濡れた状態でこすったり、放置したりすると、印刷がにじんだり、落ちたりすることがあります。

■ その他の注意

- メディアは古くなるにつれ色褪せ、変質します。メディアの状態を確認し、状態のよいものをお使いください。
- メディアを切断すると紙粉などが発生し、ラミネート浮きの原因になる場合がありますので、ご注意ください。
- 糊付きのメディアを使用した際に、プラテン等に粘着剤(糊)が付着することがあります。その場合は、 中性洗剤を湿らせた柔らかい布できれいに拭き取ってください。粘着剤がつくと、ジャムの原因になる 場合があります。

■ メディアの印刷可能領域

メディアの印刷可能領域(主走査方向)は、メディア幅とメディアエッジガードの有無、カラーストライプの有無 で決まります。通常はメディアエッジガード有・カラーストライプ無の条件で左端から10.0mm 内側・右端から 10.0mm 内側が印刷可能領域です。

・オプション未装着時



マニュアルの表記について

本書で説明に使用するマークの表記ルールを以下に示します。

マーク表記について



◆「安全にお使いいただくために」における「警告」に相当する内容を説明しています。



◆「安全にお使いいただくために」における「注意」に相当する内容を説明しています。



◇ 知っておくと便利なこと、操作などの補足事項、重要な操作を記載しています。

□ 「参照」 マークです。

このマークの後に、参照項や参照ページを示しています。

「キャッピングユニット側」、「メンテナンスエリア側」について

本書では、本機の左右方向を下図のように表記しています。

■ 本機前面(排紙側)から見た場合



■ 本機背面(給紙側)から見た場合





本機の種々構成品は、オプション品を含むすべてが、プリンターの据え付け時にプリンターに取り付けられます。 次のものが納入されますので確認してください。

万一、不足品や破損品があった場合は、お買い上げになった販売店またはサービス拠点にお問い合わせください。





◆ 設置スペース/保守スペース

本機の前後左右には、消耗品の交換や出力物を処理するためのスペース、換気のためのスペースなど、通常運転時に必要なスペースだけでなく、故障の修理で部品を交換するためのスペースが必要となります。下図に示すスペースを確保してください。



高さ方向:2200 *:保守スペース (単位:mm)



■ 使用温湿度範囲

本機は、下記の温湿度範囲内でお使いください。

温度:15℃~30℃ 湿度:30%~70%

- より良い画質を得たい場合は、20~25℃の範囲でお使いいただくことを推奨いたします。
- 安定した印刷品質を得るために、プリントヘッドの温度が40℃を超えた場合は、印刷速度を落として 印刷します。

<u> </u>注意

◆ 使用温湿度範囲外で使用した場合、印刷が停止したり、画質が乱れることがあります。

■ 設置禁止環境

次のような場所には設置しないでください。

- 火の近くの場所
- 直射日光があたる場所
- 振動のある場所
- ホコリの多い場所
- 温度、湿度の変化の激しい場所
- 冷暖房機器の近く
- 水のかかる可能性のある場所
- 通風口などからの風が当たる場所
- ジアゾ複写機などから発生するアンモニアガスの影響が強い場所
- 換気の悪い場所
- 不安定な場所



本機ソフトウェアにおける FFTSS ライブラリに関する記載事項 ――

本装置に搭載しているコントローラーのソフトウェア(以下、ソフトウェア)には、 額田彰氏によって開発された FFTSS ライブラリを使用しています。 本ライブラリは科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業 CREST によって推進された、 「シミュレーション技術の革新と実用化基盤の構築」研究領域における課題である、 「大規模シミュレーション向け基盤ソフトウェアの開発」の成果の一部です。

FFTSS を含むソフトウェアに関するサポートについては、株式会社沖データが行うものであり、本ライブラリの 開発者および、関連団体には一切の責任および義務はありません。

メディアをセットする

ふろく

........

印刷する前に知っておきたいこと

各部の名称とはたらき

◆ 本機前面(排紙側)



◆ 本機背面(給紙側)



メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

印刷前に知っておきたいこと 27







本機の操作パネルには、キー,LED,LCDが下図のようにレイアウトされています。なお、エラー時や無効キー 入力時には、ブザーで通知する機能もついています。

また、一定時間装置を使用しない場合、ウェイティングモードに遷移します。



困ったときは



本機の操作パネルについている LCD は、20 文字×2 列で表示を行います。 LCD の表示例を以下に示します。

■ メニュー階層の表示

メニューの階層は、LCD 上段左端の「>」の数で表示されます。

トップ階層:

MENU キー、ADJUST キーなどを押した時に最初に表示されるメニュー階層で、「>」は表示されません。 <表示例>

MENU	
↓ シ゛ョウホウ	O J

第1階層~第4階層:

トップ階層から1段下の階層に入るごとに、「>」が1つずつ増えて表示されます。

<表示例>



■ 上下キー選択の表示

メニュー中で 🕢、 👽 キーによりメニュー項目やパラメーターの選択が可能な場合は、LCD 下段左端に [‡] が表示されます。

<表示例>



■ OK キー入力の表示

メニュー中で or キーを入力することで、階層の移動や動作実行が可能な場合、LCD 下段右端に「◎」が表示されます。

<表示例>



本機には、印刷メディアへのインクの定着・画質の安定化のために3つのヒーターを搭載しています。



*3つのヒーターは各々独立にコントロールされます。 ヒーター温度は操作パネル、ソフト RIP および CP_Manager からコントロールできます。

⚠警告

◆ 各ヒーター面は熱くなりますので、決して触らないでください。火傷をするおそれがあります。

主電源のオン / オフ手順

電源は 200V です。

注音

◆ 本機には、付属の電源コード以外は使用しないでください。

◆ 付属の電源コードは、AC200V 専用ケーブルです。プラグの形状が AC100V とは異なりますので、ご注意ください。

主電源スイッチをオンし、その後のオフ/オンは、本機の操作パネル上の電源スイッチで行います。



◆ 電源オン手順



本機背面にある主電源スイッチがオフ(O) になっていることを確認し、オン(I)で あればオフ(O)にしてください。 付属の電源コードを本機の電源インレット と電源供給コンセントに差し込みます。

本機背面の主電源スイッチをオン (1)します。

<u>sss</u> \triangle)¢1 メデ゛ィアヲセットシテクタ゛ サイ SET ORIGI OK CANCEL <u> Heater</u> MENU ADJUST MAINTENANCE NOZZLE PRINT PH.RECOVERY 電源スイッチ

操作パネル上の電源スイッチを押してオン

します。

スイッチをオンにすると電源投入時の自己診断が行われ、左のように操作パネル上にメッセージが表示されます。



◇「こんなときには」を参照し、対処してください。
◇ 本機背面のプリンター電源、操作パネル上の電源 オン/オフスイッチをオンにしても、操作パネル の LED が点灯しない場合は、電源に問題があり ます。

⚠注意

◆ 緊急時を除いては、電源オフは、"プリントデキマス"が表示されている時に行ってください。"ショキカチュウ"や"クリーニングチュウ"の表示中にむやみに電源をオフにすると、インクのボタ落ちやプリントヘッドの故障の原因になるおそれがあります。また、セーブされていたパラメーターが消失する可能性もあります。



シャットタ ウンチュウ ノコリシ゛カン Y : Y Y

Y:YY :残り時間

プリンターの電源をオフにするには、操作 パネル上の電源スイッチを2 秒押し続けて オフにします。



上記のように LCD 表示され、シャットダウン処理の実行中であることを示し、シャットダウン終了後、電源が切れます。

ただし、本機は、装置の状態を良好に保つために、自動でメンテナンス動作を行います。そのため、本機の電源 は常にオンのままにしてください。

もし、緊急時やプリンター清掃などで一時的に電源オフにする必要がある場合は、下記の方法でオフにすること ができます。

方法1: 電源スイッチを2秒押し続ける	通常はこの方法でオフにしてください。シャットダウン時に、プ リントヘッドの状態を良好に保つために、フィルキャップ動作 (キャップの中をインクで満たしている状態)が実行されます。
方法2: 「キャンセル」 キーを押しながら、 電源スイッチを2秒押し続ける	短時間(1時間未満)のオフに限って、この方法でオフにすることも可能です。フルキャップ動作を省略して電源オフします。



- ◆ 電源スイッチをオフにしてから再度オンする時は 5 秒以上経過してから行ってください。
- ◆ プリンターは、プリントヘッドの状態を良好に保つため、プリンターが待機状態になると周期的に、自動でフィルキャップ動作を行います。

操作パネル上の電源スイッチをオンのままにしていただくことを推奨します。

メディアをセットする

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

ふろく

USB ケーブルを接続する



本機背面にある USB コネクタに専用ケー ブルを接続します。



- ◇ 接続ケーブルは、USB2.0 ケーブルを使用してく ださい。
- ◇ USB ハブを使用する場合は、USB2.0 対応の製品を使用してください。
- ◇ USB 接続に用いるケーブルやハブ、またその系に接続する USB 機器は USB-IF 認証品を使用してください。USB 認証品ではないケーブル、ハブ、その他機器を接続した場合は正常に動作しない可能性があります。
- ◇ 1本のケーブルの最大長は5mです。それ以上の 距離で使用される場合はハブを使用してください。最長構成はハブの5段接続です。ケーブル のみで5mを越える長さにした場合や、単にケー ブルをつなぎ合わせた場合は、正常に動作しない可能性があります。

オンラインとオフライン

本機はオンライン/オフラインを切り替えて使います。 オンライン:コンピュータ(ソフト RIP)からの印刷が可能 オフライン:操作パネルからメニュー操作が可能

ONLINE キーを押すとオンライン/オフラインを切り替えることができます。 また、オンライン状態で(MENU)キー、(ADJUST)キー、(MAINTENANCE)キー、(NOZZLEPRINT)キー、(PH.RECOVERY)キー を押すとオフライン状態になり、それぞれのメニュー操作を行うことができます。

◆ オンライン

ONLINE オンライン LED が点灯しているとオンラインです。

オンライン(アイドルモード)



----- 選択しているメディア番号:[01]

オンライン(プリントモード)

オンライン LED が点滅していると印刷中です。 ア[°]リントチュウ ヒョウシ[°]ュン ND B I 印刷モード サイコウソク コウソク ソクドュウセン 濃度

サイコウガシツ

ソクトエリセン MRX ヒョウジュン ND:通常濃度 ガシツユウセン HD:高濃度 コウガシツ

メディア登録の設定および、原点設定モードにより、パネルの下段右側に以下の文字が表示されます。



(3つの文字は、それぞれの設定により、独立して表示されます。)


ONLINE オンライン LED が消灯しているとオフラインです。

オフライン状態に切り替わった時のパネル表示は、押したキーにより異なります。

ONLINE) キーを押した場合:	オフライン
(ADJUST) キーを押した場合:	<pre>ADJUST \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$</pre>
(PH.RECOVERY) キーを押した場合:	<pre>PH. RECOVERY \$ ヅウシ゛ョウ ◎</pre>

eft ールエラーが表示されているときは… タ -**_**. オペレ ◇ オペレーターコールエラー (**□ 219 ページ**) が表示されている場合は、 CANCED キーを押しても操作 できない状態があります。

CP_Manager について

本機はパソコンでプリンターの状況がひと目で分かるソフトウェア「CP_Manager」に対応しました。CP_ Manager™ では、以下の操作を行うことが可能です。

パネルの操作

- ・プリンターの状態表示
- ・メディア登録、調整値の入力
- ・ノズルプリント、各種調整印刷の実行
- ・メンテナンス時期の通知、メンテナンス動作の実行

付加機能

- ・操作方法のガイダンス表示
- ・取扱説明書 (PDF) の表示



	○ メカニカル調整	? トラブルシューティング	54 ヘッドメンテナンス	ブリンター情報	● 読定
	◎ メディア登録	<u> </u>	بريلا ڪ الاري	tyz +	◆ メディア調整
Display Panel Panel 01 PAPER 0.0 m 0 mm 0 mm Marcual : 1625 mm 0100 100 100 100 0100 000 100 100 100 0100 000 100 100 000 0100 000 000 000 000 0100 000 000 000 000 0100 000 000 000 000 0100 000 000 000 000 0100 000 000 000 000 0100 000 000 000 000 0100 000 000 000 000 0100 000 000 000 000 0100 000 000 000 000 0100 000 000 000 000 0100 000 000 000 000 00	メディア登録情報 メディア登録へ、 メディア登録へ、 送り、調整値 注重調整値 注重調整値 注重調整値 によ調整値 によ調整値 によ調整値 により調整値 により調整値 にない調整値 にない調整値 にない調整値 にない調整値 にない調整値 にない調整値 にない調整値 にない調整値 にない調整値 にない調整値 にない調整値 にない調整値 にない調整値 にない調整値 にない に、たいないたい たいたい たいたい たいたい たいたい たい たい に、たい に、たい	 ⑦ このメディア登録を有効にする ○ このメディア登録に変更する ③ 1 ▼ PAPER デーク優先 ● ●	メディア登録 まディア残量 0.0 イオナイザー 12 巻き取ったす 使用 スティア残量 0.0 イオナイザー 12 巻き取ったす レッゴカード 使用 スキューチェック 12 カラーストライブ 12 吸着アン 13 メディア送りモード 13 メディア気いモード 13 ヘッド待機問題 0 ヘッド待機問題 0 キャーションス健康 メディア管検出モード 14 メディア使機出モード 14 メディア使機出モード 14 メディアの機量管理 14		
			「」 メディア残量印刷	۷	

CP_Manager™は、本機に付属の CD-ROM を使ってインストールしてください。

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

印刷できるメディアの特徴

◆ 塩ビ

表面が塩化ビニール素材のメディアです。一般的には裏面に糊がついていて、剥離紙をはがしてそのまま貼ることができます。表面の光沢の程度により、光沢塩ビ(ツヤ有り)・光沢なし塩ビ(ツヤ消し)・半光沢塩ビなどの 種類があります。

また糊にも、透明糊の他に重ね貼りで下地が見えないようにできる「グレー糊」などがあります。表面の塩ビ素 材が透明や半透明なタイプのものもあり、電飾看板などに使用されています。

◆ ターポリン

ポリエステル系繊維の織物を表裏両面から塩化ビニールなどの合成樹脂フィルムでコーティングしたシートです。 防水性があり、引き裂きにも強いので、主にテント生地や建築用養生材に使われており、インクジェット用のメディ アとしてバナー広告などにも使われます。表面の光沢の違いにより、光沢 (グロス)・マット・半光沢 (セミグロス) などの種類があります。

◆ メッシュターポリン (ライナー付き)

網目状に穴が開いたターポリンのことをさします。開いた穴から風が通り抜けることで、風による引き裂きに強く、 強風時でも破損しにくいメディアです。ライナーと呼ばれる、インク吸収用の裏紙が付いているタイプと付いて いないタイプがあり、本機ではライナー付きのものに印刷が可能です。

▶ 電飾ターポリン (FF)

FFとはフレキシブルフェイスの略です。一般的に乳白色(半透明)のターポリンのことをさします。透過性があるので、主に内照式の電飾看板に使用されています。アクリル看板と比べて軽量なので、取り付け易く、風に対する引き裂き強度も高く、風圧により割れることもないので安全性が高いのが特徴です。

◆ ソルベント用コート紙

紙をベースに、ソルベントインクが鮮やかに定着するよう、印刷面にコーティングを施したメディアです。 製品によって様々な厚みのものがあります。また、重ね貼り(経師貼り)した際に下地が透けないように、 裏面が着色されているもの(ブルーバックペーパー)もあります。

F Η

メディアを セットする

知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

メディアを本機に取り付ける

◆ ロールメディアの取り付け手順





フロントカバーを開け、左右のメディアエッ ジガードをプラテンの両端いっぱいに寄せ ます。その後フロントカバーを閉めます。

- ◆ メディアセット時にメディアエッジガードとメディア先端 がぶつからないように、両端によけておきます。
- ◆ ロールエンドが紙管に糊付けされているメディアを使用 した場合に、糊がペーパーガイドやプラテンに付いてし まう場合があります。その様な場合は、必ず清掃して糊 を取り除いてからメディアを取り付けてください。

左側のメディアホルダーを左端に移動しま す。

右側のメディアホルダーを右端に移動しま す。







メディアジャッキとメディアサポートを セットします。

◇ 始めに左側をセットするので、メディアジャッキ
 を左側、メディアサポートを右側に置いてください。
 ◇ メディアの幅に合わせてセットしてください。

ロールメディアをメディアジャッキとメ ディアサポートに乗せます。

- ◆ メディアジャッキにメディアをセットする時はメディアを 落下させないでください。
- ◆ メディアジャッキを落とさないでください。 使用中に破損する恐れがあります。
- ◆ メディアジャッキを持ち運ぶ時は可動部を持たないでく ださい。
 - 可動部を持つと指を挟みケガをする恐れがあります。

印刷する前に

メディアをセットする

ぶろく





<印刷面が外巻きのロールの場合>



📃 :印刷面



Ð

<印刷面が内巻きのロールの場合>



メディアジャッキのハンドルを時計回りに 回してメディアを持ち上げ、紙管とメディ アホルダーの高さを合わせます。



<u> ()</u>注意

◆ メディアジャッキ操作中は可動するパンタグラフ部の中 に指を入れたり、パンタグラフ部に触れないでください。

ロールの左側にメディアホルダーをセット します。



- ◆ ロールメディアをメディアホルダーに差し込む時、巻き ずれを起こしたり、ロールメディアの端面に傷をつけた りしないようご注意ください。
- ◆ 紙管がロールホルダーに固定されるように、しっかりと 奥まで差し込んでください。

メディアジャッキを反時計回りに回して外 し、ロール右側にセットします。





ロール左側と同様に、メディアジャッキで ロールの高さを合わせ、ロールメディアの 右側にメディアホルダーをセットします。

知

っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは

.

メニューツリー

ふろく

メディアジャッキのハンドルを反時計回り に回し下げ、メディアジャッキとメディア サポートを片付けます。

⚠注意

◆ メディアジャッキとメディアサポートを残しておくと、 バックフィード時にメディアが折れたり、傷ついたりす ることがあります。メディア下に置いままにはしないで ください。

加圧ローラーアップダウンレバーを上げま す。

◆ 加圧ローラーアップダウンレバーは3段階(上、中、下)の切り替え位置があります。メディアセット時には必ず、 一番上の位置まで上げてください。

<u> </u> 注意

10

◆ ご使用になるメディアにあわせて、メディア搬送用の加圧ローラーとグリットローラー間の加圧力を切り替えてご使用ください。通常は、「通常加圧」でご使用ください。お使いのメディアでスキュー等が発生し、正常にメディア搬送できない場合や、クロスなどコシの弱いメディアをご使用になる場合は、「弱」に切替えてご使用ください。加圧力は加圧ローラーアップダウンレバーの位置で切り替えます。(下図参照)





 \bigcirc



12

メディアを加圧ローラーとグリットロー ラーの間に通し、「ピッ」という音が鳴って から、さらに 80cm メディアを送ります。

メディアの先端がフロントカバーから出ると確認音が鳴ります。



⚠注意

- ◆ 使用環境によっては、メディアがペーパガイドなどに貼り付いて送りにくい場合があります。このような場合は、メディアの両端を持ってペーパガイドから浮かせながら送ってください。
- ◆ 先端がアップカールしていたり、ダウンカールしている メディアは本体内部に引っかかり、正常にセットできな い場合があります。大きくアップカール、ダウンカール しているメディアは使用しないでください。
- ◆ ロールメディアの先端がフロントカバーにあたらないように注意してください。 ロールメディアの巻きぐせがある場合、巻きぐせをのばしてからセットしてください。
- ◆ メディアエッジガードがメディアの下に入っていないか 確認してください。

メディアの両端が加圧ローラーに均等にか かるように、メディアホルダーを移動しま す。





el <

◇ ラベルの目盛り(目安ライン)とメディア幅の関係を覚えておくと、次回メディアセット時の位置合わせの参考になります。





<u> </u>注意

◆ メディアだけをずらすと、スキューの原因になりますので、メディアホルダーと共に動かしてセット位置を調整してください。

左右のメディアホルダーのネジを回して固 定します。







17

14





メディア中央を手で押え、フランジを回し て巻き戻します。メディアの先端がフロン トカバーから 20cm 出るようにしてくだ さい。

<u> ()</u>注意

◆ 無理にメディア端面を目安ラインに合わせようとせず、 ロールに対して真っ直ぐにセットしてください。

加圧ローラーアップダウンレバーを一番下 の位置まで下げます。

以降、LCD 画面上のガイダンスに従って操 作します。

フロントカバーを開け、メディアエッジ ガードをメディア両端に合わせます。この 時、メディアエッジガードの切欠き部分と メディアの端面を合わせてください。その 後フロントカバーを閉めます。

メディアエッジガードがメディアの下に入り込んでいた り、厚いメディアを無理に挿し込んで引っかかったりし ていないか確認します。

メディアエッジガードが正しくセットされていることを目 視確認し、(OK キーを押します。 知

印刷する前に



- ◆ ターポリンなど坪量の大きいメディアを使用するときは、ロールメディア側にメディアを15cm以上たるませないよ
- うにしてください。たるんだメディアの重さでロールメディアが回転してほどけることがあります。 ◆ 30cm を超えてバックフィードするときは一回でバックフィードせず、メディアを手で回転させ、たるみを取りなが らバックフィードしてください。



_

メディアをセットする



◆ 透明なメディアおよび、裏側が黒いメディアの取り付け手順

透明なメディアや裏側が黒いメディアを取り付ける場合は、以下の設定を行ってください。





従い、メディアを取り付けてください。

◇ 透明なメディアを取り付ける場合は、引き続き、以下の設定を行ってください。



CANCEL キーを押します。 メディアケンシュツの設定から抜けます。

ONLINE キーを押します。

◇ 透明なメディアを取り付ける場合は、この後、「↓ 42 ページ ◆ロールメディアの取り付け手順」に従い、 メディアを取り付けますが、メディアをセットした後のパネル操作(↓ 47 ページの手順 17 以降)は、以下の手順で行ってください。





時、メディアエッジガードの切欠き部分と メディアの端面を合わせてください。その 後フロントカバーを閉めます。 メディアエッジガードがメディアの下に入り込んでいた り、厚いメディアを無理に挿し込んで引っかかったりし ていないか確認します。

> メディアエッジガードが正しくセットされていることを目 視確認し、(OK)キーを押します。

> フロントカバーを開け、メディアエッジ

ガードをメディア両端に合わせます。この



0



21

22



゙サユウキーテ゛メテ゛ィアノ ミキ゛ハシヲ シテイシテクタ゛サイ

(**〈**)

οκ

 $(\boldsymbol{\boldsymbol{>}})$

0

メディアの種類を選択します。





(、、、)キーを押して、メディアの右端の位置までキャリッジを移動させます。

キャリッジカバー前面左下の「ママーク」をメディアの 右端の位置に合わせてください。



このマークがメディアの右端になるように キャリッジを移動させます。

キャリッジをメディアの右端の位置に移動させたら、



メディアをセットする



(OK) キーを押して、メディアの右端を確定 します。

(人)、()キーを押して、メディアの左端 の位置までキャリッジを移動させます。

キャリッジカバー前面左下の「ママーク」をメディアの 左端の位置に合わせてください。



このマークがメディアの左端になるように キャリッジを移動させます。

キャリッジをメディアの左端の位置に移動させたら、



(ок) キーを押して、メディアの左端を確定 します。

キャリッジが戻り、印刷可能な状態(オンライン状態 表示)になります。



- ◆「メディア ケンシュツ」および、「メディアハバ ケンシュツモード」の設定は、メディア登録と連動して切り替わり ます。透明なメディアや裏が黒いメディアを使用する場合は、これらのメディア専用のメディア登録を用意すること を推奨します。
- ◆ もし、1つのメディア登録を使って透明メディアおよび、裏側が黒いメディアを使用する場合は、これらのメディア を使用する際に「メディア ケンシュツ」および、「メディアハバ ケンシュツモード」設定を変更し、これらのメディ アの使用が終了しましたら、元の設定に戻すようにしてください。

◆ ロールメディアが無くなり、ロールメディアを交換する場合

メディアが無くなると、プリンターが自動検出しメッセージを表示します。

メディアの仕立てによってはプリンターが自動検出できない場合があります。そのまま印刷を続けるとプリンター を汚したり、故障する場合がありますのでメディアの有無を目視確認してください。



メディアをセットする

知

巻き取り装置にメディアを 巻き付ける

◆ テンション巻き方式 / たるみ巻き方式の設定方法

巻き取り装置は、テンション巻き方式とたるみ巻き方式の2種類を選択できます。 通常、塩ビ(糊付)を使用する際にはたるみ巻き方式を選択してください。 また、ターポリン等の印刷面がザラついたメディアは表面が滑りにくく、巻きずれが発生する場合があります。 そのような場合は、テンション巻き方式を選択してください。

<u>∕</u>注意

◆ 巻き取り装置は印刷可能なメディアでも巻き取りできないことがあります。 (例:コシの強いメディア、外巻きメディアを内巻きで巻き取るなど)



◇ たるみ巻きの外巻き、または、テンション巻きの内巻きでご使用ください。

■ テンション巻き方式 / たるみ巻き方式の設定手順

トウロクメニューの「マキトリホウシキ」で、テンション巻き方式/たるみ巻き方式の設定を行います。







ふろく

■ たるみ巻き方式の場合

塩ビ、ソルベント用コート紙を使用する場合には、たるみ巻きを推奨します。 印刷する前に、ガイドバーを手前に引き、退避位置から使用位置へ下ろします。



<u>/</u>注意

◆ ガイドバーを退避位置に戻した状態でたるみ巻きをおこなうと、巻きズレの原因となることがあります。

◆ ガイドバーに手をつくと、ガイドバーの破損や転倒などケガをする恐れがあります。

■ テンション巻き方式の場合

ターポリンを使用する場合には、テンション巻を推奨します。 ガイドバーは、退避位置のままで使用してください。





◆ ガイドバーを使用位置におろした状態でテンション巻きをおこなうと、巻きズレの原因となることがあります。

■ 外巻きの場合

巻き取り装置を奥に押し込んだ位置で使用します。





■ 内巻きの場合

巻き取り装置を手前に引き出した位置で使用します。





印刷する前に

7

右側メディアホルダー部の巻き取り方向スイッチをオフにします。



œ



ガイドバーを退避位置に移動します。

巻き取り装置を手前に引き出します。

手前側のパイプの中央部をもって手前に引っ張ってくだ さい。



4

5

6

右側のメディアホルダーに、紙管を差し込 みます。

左側のメディアホルダーをスライドさせ、 紙管に差し込みます。

メディアの先端が紙管に届くまでフィード します。

メディアホルダーの位置を調整することで、 締めます。

知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

ふろく

61



メディアと紙管の位置をあわせた後、左右 のメディアホルダーの固定ネジをしっかり

メディアをピンと張った状態で紙管にテー プで貼り付けます。

\注意

- ◆ テープは中央と両端の3か所に貼り付けてください。
- ◆ メディアを紙管に対して斜めに取り付けるとメディアの スキューの原因となりますので注意してください。

紙管とメディアのテープ剥がれを防ぐため、

紙管1周分くらい巻き取りを行います。

フィードを行いながら、手で巻き取りフランジを回す、 あるいは巻き取りスイッチを使って巻き取りを行います。 巻き取りスイッチは、オンオフを繰り返して、フィード 量に合わせて巻き取ってください。

さらにフィードしてメディアをたるませま す。





内巻きの場合は、巻き取り装置を引き出し たままにします。









8

10



UF



たるみ巻の場合は、ガイドバーを使用位置 におろします。



13 巻き取り方向スイッチを設定します。

たるみ巻きの場合、巻き取り方向は外巻きのみ選択可能です。 下図を参照して設定してください。



ふろく

メディアを取り外す

◆ メディア残量を印刷する方法

メディアを取り外す前に、メディアの残量をメディアに印刷しておくことができます。





必要な印刷部分がアフターペーパーガイド の下端をこえるまで、フィードします。

アフターペーパーガイドの下端で、メディ アをカットします。

オプションのカッターユニットを使用する場合は、「〇 69 ページ メディアをカットする」を参照してくだ さい。



ガイドバーを退避位置に戻し、巻き取り装 置を手前に引き出します。

手前側のパイプの中央部をもって手前に引っ張ってくだ さい。



メディアジャッキを左側にセットします。



<u>//</u>注意

- ◆ メディアジャッキを落とさないでください。 使用中に破損する恐れがあります。
- ◆ メディアジャッキを持ち運ぶ時は可動部を持たないでく ださい。

可動部を持つと指を挟みケガをする恐れがあります。

困ったときは・・・



1



まず、メディアの左側を外します。

- ① メディアジャッキのハンドルを時計回りに回し、メ ディアジャッキをメディアの高さに合わせます。
- メディアがメディアジャッキに乗ったら、左側のメディ アフォルダをスライドさせ、メディアから外します。

<u> (1)</u>注意

- ◆ メディアホルダーにメディアがセットされているときに メディアジャッキを上げすぎると、メディアホルダーや メディアジャッキが破損する恐れがあります。
- ◆ メディアジャッキ操作中は可動するパンタグラフ部の中 に指を入れたり、パンタグラフ部に触れないでください。

メディアの左側をメディアサポートに乗せ ます。

- メディアジャッキの横にメディアサポートを置きます。
- ② メディアジャッキのハンドルを反時計回りに回してメ ディアを下ろし、メディアサポートにメディアを乗せ ます。

メディアジャッキを右側にスライドさせて セットします。

次に、メディアの右側を外します。

- メディアジャッキのハンドルを時計回りに回し、メディアジャッキをメディアの高さに合わせます。
- メディアがメディアジャッキに乗ったら、右側のメディ アホルダーをスライドさせ、メディアから外します。

- ◆ メディアホルダーにメディアがセットされているときに メディアジャッキを上げすぎると、メディアホルダーや メディアジャッキが破損する恐れがあります。
- ◆ メディアジャッキ操作中は可動するパンタグラフ部の中 に指を入れたり、パンタグラフ部に触れないでください。

メディアジャッキを反時計回りに回し下げ、 メディアを取り外してください。

//\注意

- ◆ メディアは重量物です。これらを持ち上げる際はケガ防止のため、必ず2人以上で作業し、足の上に落とさないよう十分注意してください。また、重たいと感じたときは、作業者を増やすなどの対応を取ってください。 無理をすると身体を痛める場合があります。
- ◆ 本機へのメディアの取り付け取り外し、メディア交換を行う場合は、ケガ防止のためリフター付台車(推奨台車)を 使うようにしてください。

◆ ロールメディアの取り外し手順(給紙側)



2

加圧ローラーアップダウンレバーを上げま

フランジを回して、メディアを巻き戻しま す。

左右のメディアホルダーを外側へ移動させ、 メディアを取り外します。

- ◆ ロールメディアの残量が多く、重量がある場合は、メディ アジャッキを利用し、ロールメディアの取り付けと逆の 手順で取り外してください。
- ◆ ロールメディアをメディアホルダーから抜く際に、ロー ルメディアを落とさないように注意してください。手が 挟まれたり、足の上に落としたりすると、けがをする恐 れがあります。



印刷する前に

調整する





◆ 2 インチ紙管を使用する場合

7

2

オプションの2インチフランジを取り付けることによって、2インチ紙管を使用することができます。 給紙と巻き取りのどちらにも使用する事が出来ます。 以下に、2インチフランジの取り付け手順を説明します。



3インチフランジの R ピンを引き抜き、取 り外します。



_



2インチフランジを取り付けます。

⚠注意

- ◆ ピンが溝に合うように合わせて取り付けます。
- ◆ 新しいフランジは、取り付けの際、きついことがあります。しっかり奥まで差し込んでください。
- ◆ Rピンやピンを、失くさないようにご注意ください。

R ピンを取り付けます。

メディアをカットする

オプションのカッターユニットを使用してメディアをカットする方法を説明します。



 \bigcirc

2

3

ガイドバーを使用位置におろします。

メディアの両端をメディアクリップで止め ます。

メディアカッターブレードを移動させ、メ ディアをカットします。



\注意

- ◆ メディアカッターブレードには矢印マーク(→)が刻印 されています。 メディアカッターブレードは矢印マーク(→)の方向に だけカットできます。矢印マーク(→)がカットする方向 に向いていない場合は以下の手順で向きを変えてくだ さい。
- ◆ メディアをカットしたらメディアカッターブレードはカッ ターユニットの端まで移動してください。端まで移動し ないとアフターペーパーガイドと接触し、メディアカッ ターブレード破損の恐れがあります。

メンテナンス

印刷する前に

メディアをセットする

調整する

69

ふろく



メディアカッターブレードの側面を握って 固定フックを外しながら引き抜きます。

左右を反転させて差し込みます。

<u>▲注意</u>

- ◆ メディア切断途中で、メディアカッターブレードが引っかかった場合、一度、メディアカッターブレードを戻し、メディアが 折れていないか等を確認し、引っかかった原因を取り除いてから、ゆっくり移動させ切断してください。無理に切断すると、 メディアカッターブレードの刃が欠けるなどして、切れ味が低下するので、ご注意ください。
- ◆ メディアカッターブレードを落下させると、メディアカッターブレードの刃が欠けるなどして、切れ味が低下するので、取扱いにご注意ください。
- ◆ 厚手のメディアやクロス等は、メディアカッターブレードで切断できない場合があります。この場合、はさみ等で切断して ください。無理に切断しようとすると、切れ味が低下したり、カッターブレードが破損することがありますのでご注意く ださい。

▶ 印刷終了後にメディアをカット位置までフィードする手順

印刷終了後に、印刷結果の後端位置でメディアをカットする場合は、以下の手順で行います。



・印刷結果の後端位置がメディアカット位置よりも前にある場合

知

印刷する前に

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・

.

メニューツリー

ふろく

◆ メディアをカット後にメディアを印刷位置までバックフィードする手順


巻き取り装置からメディアを 巻き出す

▶ 巻き取り装置に巻き付けたメディアを巻き出す手順

巻き取り装置で巻き取ったメディアを巻き出す場合は、以下の手順で行います。



いっておきたいこと

知



◇ 巻き出し方向は、巻き取り方向スイッチの設定によります。 メディアを内巻きで巻き取ったか、外巻きで巻き取ったかにより、巻き出し時の巻き取り方向スイッチの設定 が異なりますので、下図を参照して設定してください。

のら 巻き出し動作時間について

◇ 巻き出し動作は、一定時間動作すると自動的に停止します。追加で巻き出し動作を行う場合は、巻き取りスイッチを一旦オフにしてから、再度、所望の方向にスイッチを設定してください。









画を綺麗に出力するための調整を行います。

注意

- ◆ 調整を行う前に、ヒーターを強制的に ON に設定し、装置を 30 分以上温めてください。
- ◆ 装置が充分温まっていない状態で調整を行うと、正しく調整が行えない場合があります。
- ◆ 新規メディアに交換した場合、印刷モードを変更した場合等は印刷調整を行う必要があります。

印刷調整には、「送り調整」と「往復調整」があります。 それぞれに対し「自動印刷調整」と「マニュアル印刷調整」があります。

送り調整

メディアの送り量を調整します。

往復調整

双方向印刷時のインク着弾位置を調整します。

自動印刷調整	マニュアル印刷調整
□ 79 ページ	口 81 ページ
□ 85 ページ	□ 87 ページ

印刷調整には「自動印刷調整」と「マニュアル印刷調整」があります。

「自動印刷調整」は調整パターンを印刷し、センサーで読み取ることで自動的に調整値が設定されます。 「マニュアル印刷調整」は調整パターンを印刷し、目視により調整値を選択し、設定を行います。

∬」。自動印刷調整とマニュアル印刷調整の使い分け

- ◇「自動印刷調整」は以下の方にお勧めします。
 - ・初心者の方
 - ・マニュアル印刷調整が難しいと感じる方
 - ・調整を早く済ませたい方
 - ※ メディアによっては対応できない場合があります。自動印刷調整で画質が改善されない場合はマニュア ル印刷調整を行ってください。
- ◇「マニュアル印刷調整」は以下の方にお勧めします。
 - ・より良い画質で出力したい方

知

メニューツリー

木



◆ 自動印刷調整の注意事項

<u> </u>注意

◆ 以下の条件では自動印刷調整は正しい調整値を設定できません。条件を改善するか、マニュアル印刷調整を実施してください。

また、自動印刷調整は機械により調整値を決定する都合上、完全な精度を保証するものではありません。

- ・センサーによるパターン読み取りに適さないメディアを使用している場合 (一般的なメディアであっても、自動印刷調整に不向きな場合があります)
- (一般的なメディア どのうても、目
- ・透明なメディアや色の付いたメディア
- ・表面に凹凸があるメディア
- ・光の反射率が極めて高いメディア、光の反射率が極めて低いメディア
- ・滲みやすい等、パターンが正しく形成できないメディア
- ・埃,インク,指紋の付着等によりメディア表面が汚れている場合
- ・メディアに浮きが発生している場合
- ・ノズル詰まりが多く発生している場合
- ・メディアヒーター温度が適切でない場合
- ・強い外乱光にさらされている場合
- ◆ 自動印刷調整では、印刷したパターンを読み取ることによって調整値を決定します。しかしながら、メディアの経年劣化 やロットの違いによって、印刷されたパターンに差が生じる場合があります。その結果、同じメディアであっても正しい検 出結果が得られない場合があります。

このような場合には、マニュアル印刷調整を実施してください。

▶ 自動印刷調整が実行できない

自動印刷調整を実行して次のメッセージが表示された場合、自動印刷調整を行うことができません。 代わりにマニュアル印刷調整を実行するか、下記の確認と対処を行ってください。

マニュアル チョウセイヲ 1	意味 センサーの光量が基	意味 センサーの光量が基準のレベルに到達していない場合に発生します。				
ジッコウシテクダサイ 🛛 🔘						
	確認事項	対処方法				
	自動印刷調整用センサーがイ	自動印刷調整用センサーの清掃を行ってくださ				
	ンクミストで汚れていないか	(,),				
		(〇〇 133 ページの「自動印刷調整用のセンサー				
		とイオナイザー周りの清掃」)				
	メディアが汚れていないか	汚れの無い箇所までフィードしてください。				
	メディアが皺になっていないか	メディアをセットし直すか、皺がなくなるまで				
		フィードしてください。				
	光の反射率が低すぎるメディア	自動印刷調整はメディアによっては対応できな				
	を使用していないか	い場合があります。マニュアル印刷調整を行って				
		ください。				
マニュアル チョウセイヲ 2	意味 センサーの光量が	基準のレベル以上になってしまう場合に発生しま				
ジッコウシテクダサイ ◎	す。					
		対切方法				

確認事項	対処方法
メディアが皺になっていないか	メディアをセットし直すか、皺がなくなるまで
	フィードしてください。
センサーに外乱光が入光してい	外乱光を遮光するか、プリンターの設置位置を
ないか	変更してください。
光の反射率が高すぎるメディア	自動印刷調整はメディアによっては対応できな
を使用していないか	い場合があります。マニュアル印刷調整を行って
	ください。

マニュアル チョウセイヲ	
ジッコウシテクダサイ	

3 © 意味 調整値の判定が正しく行えない場合に発生します。

確認事項	対処方法
メディアが皺になっていないか	メディアをセットし直すか 皺がなくなろすで
	フィードしてください。
ノズル詰まりが発生していない	クリーニングを実施してください。
か	
メディアヒータ温度が適切か	パターンが滲まないようにメディアヒータ温度を
	変更してください。
パターンの形成・読み取りが正	自動印刷調整はメディアによっては対応できな
しく行えないメディアを使用し	い場合があります。マニュアル印刷調整を行って
ていないか	ください。





ふろく

◆ メディアの送り量を調整する「送り調整」

メディアは厚み、コシの強さ、表面の摩擦抵抗などによって搬送性能が変化します。 画を綺麗に出力するためには送り調整を実行し、適切な送り調整値を設定する必要があります。



自動印刷調整の注意事項(27ページ)

<作業の流れ>





(OK) キーを押します。

、(~)キーを押し、「ジドウチョウセイ」 を選択します。

(OK) キーを押します。

印刷モード
サイコウソク
コウソク
ソクドユウセン
ヒョウジュン
ガシツユウセン
コウガシツ
サイコウガシツ

(ок)) キーを押します。



送り調整パターンの印刷とセンサによるパターンの読み 取りが行われます。

印刷・読み取りが全て終了すると送り調整値が設定さ れ、調整完了となります。

8

9

>> ジ ドウチョウセイ

>> ジドウチョウセイ

シッコウチュウ

インサツシ゛ッコウ OK?

(ок)

(ок)

\$ サイコウソク

0

0

このようなパターンが印刷され、読み取りが行われます。



■ マニュアル印刷調整

マニュアル調整には「パターン 1シュ」と「パターン 3シュ」があります。 「パターン 1シュ」は、設定した調整値の送り調整パターンを印刷します。 「パターン 3シュ」は、設定した調整値、設定した調整値 +0.2%、設定した調整値 -0.2%の3種類の送り調 整パターンを印刷します。



印刷する前に

困ったときは・・・

メニューツリー



、、シキーを押し、「マニュアルチョウセイ」を選択します。

、
 キーを押し、「オクリチョウセ
 イチ」を選択します。

 く、、、、キーを押して、カーソルを選択し、

 し、、、、、キーを押して送り調整値を入力します。

(OK) キーを押して、送り調整値を設定し、 CANCEL キーで「オクリチョウセイチ」から 抜けます。









◆ メディアの左右で適正な調整値が違う場合は平均的な値を設定してください。

◆ メディアの左右で適正な調整値が違う場合はメディアの斜行などが原因となっている可能性があります。メディアが斜めにセットされていないか再確認してください。

▶ 往復のインク着弾位置を補正する「往復調整」

双方向印刷をする場合、メディアの厚みや印刷モードの違いによって往路と復路の着弾位置にズレが生じます。 画を綺麗に出力するためには往復調整を実行し、適切な往復調整値を設定する必要があります。



.

知





🚺 画質が改善されない場合はマニュアル印刷調整を実行してください。

■ マニュアル印刷調整





往復調整値の選定は、調整値 L·R に対して各プリントヘッド毎に行います。





同様に、他の調整値L・R、プリントヘッ ド色についても往復調整値を設定します。 他の調整値L・R、プリントヘッド色につ いても往復調整値を設定したら、調整完了 となります。



メンテナンス

調整する

ふろく





		消耗品型番	、名称	容量、個数	交換周期	(メッセージ	表示周期)
IP6-2	51	ワイパークリーニン	グ液セットA (200ml 入)	3本	約1ヶ月/本		
IP6-258 ワイパースポンジ			1 個	約6ヶ月			
IP6-2	59	ワイパーブレード					
		ゴムブレード		2枚	約 12 ヶ日		
		スポンジブレート	*	1枚	小り12-97月		
			・・・確認・・・セット	· ·	· · 交換 · · 清掃	R . P .	・・外す ・・パネル操作
とき	汚れ	いが目立つとき		消耗	B		
			IP6-272 キャップクリ IP7-264 クリーニング	ーニング液 A * 1 棒 (大) * 1			
			IP6-109 廃インクボト				
			IP6-251 ワイパークリ	ーニング液セット	A		
			IP6-259 ワイパーブレ	∠— ×́*1			
			IP6-258 ワイパースボ	ペンジ			
		SR	IP6-261 シートマウ	ントクリーニングキ	ーット A		
		C					



					消耗品型者	昏、名称	容量、個数 交	換周期(メッセージ表示周期)
太機を安定	宇稼働させ、きれいな画質を得るために、	日常メンテナンスは実施してください。		IP6	-251 ワイパークリーニン	ング液セット A (200ml 入)	3本 約1ヶ	月/本
特に以下の	の3点については、注意してください。			IP6	-258 ワイパースポンジ		1個 約6ヶ	月
+j. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	トマッピングユニットの清掃 (開始前のメン	ノテナンス)を毎日実施してください。		IP6	-259 ワイパーブレード		• //	
•	フイパークリーニング液の残量確認を毎日	行い、なくなったら必ず交換してください。			コムフレード	[*	2枚 約12分	-月
•	プリントヘッドは精密機器です。ノズル面の	の直拭きはしないでください。			スホノシノレー	۲ ۲	1 12	
日常メンラ	-ナンスは、操作パネルからも実施できま	. च.				···確認	· · · 交接	a R · · · 外す
以下に日常	常メンテナンスの一覧を示します。					S · · · tyl	、 (C) · · · 清掃	ア ・・・パネル操作
No.		項目	毎日	プリンターの メッセージがあるとき	汚れが目立つとき		消耗品	
А	メディアセット		SR					
		ワイパーブレードの汚れチェック				ID6 070 + トップクロ	->.//)冻 ∧ ※1	
В	開始前のメンテナンス	キャッピングユニットの清掃				IP7-264 クリーニング	—————————————————————————————————————	
		クリーニング						
С	C ノズルプリント		P					
D	廃インクボトルのチェックと交換					IP6-109 廃インクボトル		
Е	ワイパークリーニング液のチェックと交	換				IP6-251 ワイパークリーニング液セット A * 1		
F	 ワイパーブレードの汚れチェックと交換 					IP6-259 ワイパーブレード※1		
G	ワイパースポンジ交換					IP6-258 ワイパースポンジ		
н	シートマウントクリーニング (実施の目)	安は1ヶ月に1度です)		SR	SR	IP6-261 シートマウン	ントクリーニングキット A	
		メディアエッジガード清掃			C	 IP6-147 クリーニング棒* 1 IP6-272 キャップクリーニング液 A * 1		
		ヘッドガード清掃			C			
	 プリンターの清掃	プラテン清掃			С			
	(実施の目安は1週間に1度です) 	ペーパーガイド清掃			С			
		加圧ローラー清掃			С			
		外装(フロントカバー)清掃			С			
J	自動印刷調整用のセンサーとイオナイサ (実施の目安は1年に1度です)	ザー周りの清掃			С	IP6-147 クリーニング	棒※1	

※1 これらは、IP6-271日常メンテナンスキットAにも含まれます。

ふろく

毎日のメンテナンス

A メディアセット

メディアノシワヲ カクニンシテクタ゛サイ メディアをセットしたまま放置されていた場合には、メ ディアにしわが発生していないか確認します。

メディアにしわが発生している場合は、メディアをセッ トし直すか、しわがなくなるまでフィードを実施してく ださい。

※シワがある状態で作業を開始すると、ノズル面にダ メージを与えることがあります。

B 開始前のメンテナンス(ワイパーブレードの汚れチェック、キャッピングユニッ トの清掃、クリーニング)

「カイシマエノメンテナンス」を選択することで、プリンターのガイダンスに沿って、キャッピングユニットの清掃 とクリーニングを同時に実施することが出来ますが、個別にクリーニングだけを実施することもできます。

ワイパーブレードの汚れチェック、キャッピングユニットの清掃とクリーニングを同時に行う手順



93



プリントヘッドのワイピングが終わると、キャリッジが メンテナンスエリアへ移動します。

警告音が鳴ります

◇ キャリッジが移動する際、警告音が鳴ります。 警告音を鳴らさないようにする場合は、 190 ページを参照してください。

キャリッジがメンテナンスエリアに移動 したあと、フロントカバーを開けてから、 キャッピングユニットカバーを開けます。

ワイパーブレードに汚れやきずが見られた 場合は、「カイシマエノメンテナンス」終了 後に、「ワイパーブレードコウカン」を実施 して、ワイパーブレードを交換してくださ い。

クリーニング棒(大)をキャップクリーニ ング液に浸けます。



- ◇ 一度キャップを清掃したクリーニング棒(大)を キャップクリーニング液ボトルの中に入れないで ください。キャップクリーニング液が汚れてしま います。
- ◇1本のクリーニング棒(大)をキャップクリーニン グ液に1回浸ければ、すべてのキャッピングユニッ トを清掃することができます。

知



ふろく



0

⚠注意

8

- ◆ キャップクリーニング液がキャップ以外に付着しないように注意してください。
- ◆ クリーニング棒(大)は一回限りの使い切りです。毎回 新しいクリーニング棒(大)に交換して清掃してください。
- ◆ 1回の清掃できれいにならない場合は、新しいクリーニング棒(大)に交換して再度清掃してください。
- ◆ 6 色仕様の場合は、右側 1 箇所のキャップは清掃不要です。



キャップ上面をクリーニング棒(大)を使っ て清掃します。



1. はじめに、各キャップ上面の外周部分を、クリー ニング棒(大)で1周させます。

これにより、各キャップ表面の汚れにキャップク リーニング液を浸透させます。

作業は、左のキャップから右方向に向かって行 います。



2. 次に、各キャップ上面の外周部分を、クリーニン グ棒(大)で5周させて、汚れを拭き取ります。 作業は、左のキャップから右方向に向かって行 います。



キャッピングユニットカバーを閉めてから、 フロントカバーを閉じます。

自動的にプリントヘッドが元の位置に戻ります。

(ок))キーを押します。

(ок)キーを押します。

クリーニングを行わない場合は、CANCEL キーを押します。

ΟΚ キーを押します。



◇ 手順 11 で CANCED キーを押した場合は、この ガイダンスは表示されません。

メンテナンス 95



がらキャップ上の異物やインク汚れを取り除いてください。

◆ クリーニングを個別に行う手順



|>ツウジョウ

\$ ヘット: 34567

ホ`トルカクニンOK?

(ок)

(ок)

Δ

5

(PH.RECOVERY) キーを押します。
オンラインアイドル、オフライン、印字中、ポーズ中に クリーニングを実施することができます。
ОКキーを押します。
 ◇ 前回のクリーニング実施から一定距離の印刷を行っていると、「ツウジョウ」(通常クリーニング)が表示されません。 この場合は、「キョウリョク」(強力クリーニング)を実施してください。 (□ 227ページの「◆強力クリーニング」)

表示されている番号のプリントヘッドがクリーニングの 対象となります。

インクの色とヘッド番号は、下表のように対応しています。

ヘッドグ	ループ 1	ヘッドグループ 2			ヘッドグ	ループ3
Lc	Lm	С	Y	К	М	Gy
1	2	3	4	5	6	7



0

0

X X X X X X X X

◇ 前回のクリーニング実施から一定距離の印刷を 行っている場合は、個別にヘッドを選択してのク リーニングはできません。



(OK)キーを押します。

表示されている番号のプリントヘッドがクリーニングの 対象となります。 詳細な取り扱い方法

メディアをセットする



「フ[°]リントテ[`]キマス 01:PAPER/1626mm

廃インクボトルが一杯の場合はエラーが発生します。ガ イダンスに従って、廃インクボトルを交換してください。 (◯ 102 ページの「廃インクボトルの交換」)

クリーニングを開始します。

クリーニング動作は数分かかります。 クリーニングが開始されると、所要時間が表示されま す。所要時間は10秒おきにカウントダウンします。

オンラインアイドル:オンラインへ遷移 オフライン:オフラインのまま 印刷中:印刷を再開 ポーズ中:ポーズ状態のまま

C ノズルプリント

◆ ノズルプリントの実施チェック

ノズルプリントは、プリントヘッドのノズル (インクの吐出口)が目詰まりしていないことを確認するために行います。次のようなタイミングで実施して下さい。

- ・毎日の最初の印刷前。
- ・キャッピングユニットの清掃などのために、キャッピングユニットからキャリッジを離した状態で長時間放 置した後。



印刷抜け・プリントミスがないことを確認します。

右のようなパターンが印刷されます。 線の抜けやインク吐出方向の曲がりが ないことを確認します。

「ノズルプリント」に線の抜けやインク 吐出方向の曲がりがある場合は、ツウ ジョウクリーニングを行います。 ツウジョウクリーニングを複数回行っ ても線の抜けやインク吐出方向の曲が りがある場合は、以下の手順で「ノズ ルマップ」を設定してください。



調整する

知

っておきたいこと

メディアをセットする

困ったときは

.

メニューツリー

◆ ノズルマップの設定

ノズルプリント上に線の抜けやインク吐出方向の曲がりがある場合、ノズルマップを設定すれば、その原因となっているノズルを他のノズルで代替することができます。これによって、印刷スピードを落とすことなく、元の画質 に戻すことができます。

1つのヘッドに対して、最大10個までのノズルマップを設定することができます。

ノズルマップの設定には、「マニュアル設定」と「自動設定」があります。

※ 自動設定では、完全に閉塞しているノズルのみが検出されます。次のようなノズルは、ノズルマップを手動 で設定する必要があります。

・部分的に閉塞しているノズル

・インク吐出方向が曲がっているノズル

※ 自動設定は、762mm (30 インチ) 以上のメディアをご使用ください。

マニュアル設定 🛛 101 ページ

自動設定 🛛 102 ページ



◇ 自動設定は以下の場合に選択します。

- ・部分的に閉塞しているノズルがない場合
- ・インク吐出方向が曲がっているノズルがない場合
- ・設定する手間を省きたい場合
- ・マニュアル設定に慣れていない場合

<u>//</u>注意

- ◆ 自動設定は機械によりノズルマップを設定する都合上、完全な精度を保証するものではありません。
- ◆ 以下のような条件では、自動設定は正しい調整値を設定できません。条件を改善するか、マニュアル設定を実施してください。
 - ・センサーによるパターン読み取りに適さないメディアを使用している場合
 - (一般的なメディアであっても、自動設定に不向きな場合があります)
 - <例>
 - ・透明なメディア
 - ・表面に凹凸があるメディア
 - ・光の反射率が極めて高いメディア、または光の反射率が極めて低いメディア
 - ・滲みやすい等、パターンが正しく形成できないメディア
 - ・印刷パターンの濃度差が出ないメディア
 - ・搬送が不安定なメディア
 - ・シワの発生しやすいメディア
 - ・埃、インク、指紋の付着等によりメディア表面が汚れている場合
 - ・メディアに浮きが発生している場合
 - ・ノズル抜けが多く発生している場合
 - ・メディアヒーター温度が適切でない場合
 - ・強い外乱光にさらされている場合
 - ・往復調整値、または送り調整値が著しくズレている場合
- ◆ 自動設定では、印刷したパターンを読み取ることによって調整値を決定します。しかしながら、メディアの経年劣化やロットの違いによって、印刷されたパターンに差が生じる場合があります。その結果、同じメディアであっても正しい検出結果が得られない場合があります。
 - このような場合には、マニュアル設定を実施してください。
- ◆ 環境温度、環境湿度によっては、稀に、自動設定を実行した後にノズル詰まりが発生する場合があります。 このような場合は、クリーニングを行ってノズルを回復した後、マニュアル設定を行ってください。

■ マニュアル設定



(ADJUST) キーを押します。

1 つのヘッドに対して、最大 10 個までのノズルマップ を設定することができます。



ΟΚ + ーを押します。

◇、 ◇ キーで設定する色を合わせ、
 ○K キーを押します。

ここでは Lc ヘッドのノズルマップ 1 にノズル番号 365 番を設定する例で説明します。

調整する

木

ったときは

.

メニュ

ーツリ





メニューツリー

ふろく





XX:YY :残り時間

103

メンテナンス

)キーを押して、「ジドウノズルマッ プ」を選択します。





表示されている番号のプリントヘッドがクリーニングの 対象となります。

インクの色とヘッド番号は、下表のように対応しています。

ヘッドグ	ループ 1	ヘッドグループ 2			ヘッドグ	ループ 3
Lc	Lm	С	Y	К	М	Gy
1	2	3	4	5	6	7

(ok) ーを押します。 +



このようなパターンが印刷され、読み取りが行われます。







全色選択時の配置

メディア幅 1371 mm (54 インチ) 末満の場合





◇インク吐出方向が曲がっているノズル



代替されない。

< STEP2 >

吐出不良を起こしているのに、代替ノズルとして設定されていないノズルがある場合は、□ 101 ページ のマニュアル設定と同様に、手動でノズルマップを追加設定します。

常に吐出不良を起こすノズルについては、ノズル番号を設定する際に、上書き防止の設定をしておくと、自 動設定の検出結果に関わらず代替されるようになります。

上書き防止設定 カヘン:上書き防止しない コテイ:上書き防止する

> ◇ 自動ノズルマップの印刷結果を見ながらノズルマップの設定を行うと、吐出不良であるノズルの番号を見つ けやすくなります。



(ADJUST) キーを押します。

キーを押して、「ノズルマップセッ テイ」を選択します。

調整する

知

印刷する前に

メディアをセットする



- ◇ 設定したノズルマップのノズル番号は、ノズルプ リントの印刷結果に表示されます。
- ◇ 上書き防止設定をしたノズル番号には、▲印が付きます。

◆ 自動設定でエラーが発生する場合

自動設定の実行中に次のエラーが発生した場合は、代わりににマニュアル設定を実行するか、下記の確認と対処を行ってください。

セットシテクタ゛サイ	0

※自動設定は実行されません。実行前のノズルマップが保持されます。

意味 762mm (30 インチ) 未満のメディアがセットされている場合に発生します。

確認事項	対処方法
762mm (30 インチ)未満のメディアがセッ	自動設定は、762mm (30 インチ)以上のメディアをご使用ください。
トされていないか	または、マニュアル設定を行ってください。

ノス゛ルマッフ゜ヲマニュアルテ゛	1
ニュウリョクシテクタ゛サイ	0

※自動設定は実行されません。実行前のノズルマップが保持されます。

意味 センサーの光量が基準のレベルに到達していない場合に発生します。

	对処万法
自動印刷調整用センサーがインクミストで汚	自動印刷調整用センサーの清掃を行ってください。
れていないか	(〇) 133 ページの「自動印刷調整用のセンサーとイオナイザー周りの清
	掃」)
メディアが汚れていないか	汚れの無い箇所までフィードしてください。
メディアが皺になっていないか	メディアをセットし直すか、皺がなくなるまでフィードしてください。
光の反射率が低すぎるメディアを使用してい	メディアによっては、自動設定ができない場合があります。マニュアル設
ないか	定を行ってください。
	または、メディアを変更して自動設定を行ってください。

「ノス゛ルマッフ゜ヲマニュアルテ゛	2
ニュウリョクシテクタ゛サイ	Ô

※自動設定は実行されません。実行前のノズルマップが保持されます。

意味 センサーの光量が基準のレベル以上になってしまう場合に発生します。

確認事項	対処方法
メディアが皺になっていないか	メディアをセットし直すか、皺がなくなるまでフィードしてください。
センサーに外乱光が入光していないか	外乱光を遮光するか、プリンターの設置位置を変更してください。
光の反射率が高すぎるメディアを使用してい	メディアによっては、自動設定ができない場合があります。マニュアル設
ないか	定を行ってください。
	または、メディアを変更して自動設定を行ってください。

(パネル表示)

ジドウノズルマッフ゜エラー Lc Lm C Y K M Gy ©

下段には、自動ノズルマップでエラーが発生した色が表示されます。 また、自動ノズルマップでエラーが発生した場合、自動ノズルマップの印刷結果にエラーメッセージが印刷され ます。

(自動ノズルマップのエラー印刷結果)
 XXX:エラー1 ノズルマップヲマニュアルデ ニュウリョクシテクダサイ
 XXX:エラー2 ノズルマップヲマニュアルデ ニュウリョクシテクダサイ
 ※XXXは、ヘッド色+ヘッド番号。(例:Lm2、Y4)

※エラーが発生した色は検出結果が反映されません。実行前のノズルマップが保持されます。 エラーが発生しなかった色は検出結果が反映されます。

意味 検出が正しく行えない場合に発生します。

	<u>→+</u>
スキューや皺の発生等の、搬送不良が発生し	メディアをセットし直すか、皺や汚れがなくなるまでフィードしてください。
ていないか	メディアによっては、自動設定ができない場合があります。マニュアル設
パターンに汚れや傷が付いていないか	定を行ってください。
	または、メディアを変更して自動設定を行ってください。
ヘッドが異常状態(抜けが多すぎる等)	ヘッドクリーニングを行ってください。
	□ 227 ページ 「印刷抜け (ノズル詰まり) を回復させる」

XXX:エラー3 クリーニングヲ ジッシシテクダサイ ※XXXは、ヘッド色+ヘッド番号。(例:Lm2、Y4)

※エラーが発生した色は検出結果が反映されません。実行前のノズルマップが保持されます。 エラーが発生しなかった色は検出結果が反映されます。

意味ノズル詰まりの数と上書き防止設定の合計が、規定数(10ノズル)を超えている場合に発生します。

確認事項	対処方法
ノズル詰まりの数と上書き防止設定の合計が	ヘッドクリーニングを行ってください。
10 ノズルを超えていないか	不要な上書き防止設定を解除してください。
	① 105 ページ< STEP2 >
	□ 227 ページ「印刷抜け(ノズル詰まり)を回復させる」
D 廃インクボトルのチェックと交換



2

レバーを上にスライドさせ、キャップ全体 を持ち上げます。

チューブからインクがたれますので、しばらくそのまま の状態で待ちます。

一杯になった廃インクボトルをユニットか ら外します。

付属のキャップでふたをして新品と交換します。

廃インクボトルユニット中のこぼれたイン



クを拭き取ります。

調整する



E ワイパークリーニング液のチェックと交換

ワイパークリーニング液は、プリンターの交換メッセージが表示されたとき、および毎日の点検において残量が 少なくなった場合に以下の手順に従って交換してください。ワイパークリーニング液の交換周期は目安として約 1ヶ月です。



(MAINTENANCE) キーを押します。

シキーを押して、「ワイパーメンテナンス」を選択します。



シキーを押して、「ワイパークリーニン
グエキコウカン」を選択し、OK キーを押します。

OK キーを押して、実行を開始します。 中止する場合は、CANCED キーを押します。

フロントカバーを開けてから、キャッピン グユニットカバーを開けます。

古いワイパークリーニング液ボトルを少し 持ち上げ、中に入っている液をすべてプリ ンター内に流し込んだのを確認してから抜 きます。

<u>小</u>注意

◆ あらかじめ廃インクボトルが一杯になっていないか目視 確認してください。 知

っておきたいこと

困ったときは・・・

メニューツリー

111



F ワイパーブレードの汚れチェックと交換

ワイパーブレードは、プリンターの交換メッセージが表示されたとき、および毎日の点検においてきずや汚れが 見られた場合に交換します。 ワイパーブレードがこのような状態になったら以下の手順に従って交換してください。 交換の際は、3枚のブレードすべてを交換してください。



知



ワイパーブレードの下の縁をピンセットで 挟み、プラスチックの突起部分の引っかか りを外します。

上に持ち上げるようにしてワイパーブレー ドを抜き取ります。

新しいワイパーブレードのゴム部分をピン セットで挟んで上からまっすぐ差し込み、 ゴム部分の穴にプラスチックの突起部分が 引っかかるように取り付けます。

⚠注意

- ◆ ワイパーブレードは表裏の区別はありません。
- ◆ ワイパーブレードの上部はプリントヘッドに直接触れる 部分なので、ワイパーブレードを取り扱う際に手で触っ たり、ピンセットで挟んだりしないでください。



◆ ゴムのブレードを2枚、スポンジのブレードを1枚交換します。

奥からゴム \rightarrow ゴム \rightarrow スポンジの順番でセットしてくだ さい。

順番を間違えると、クリーニングが成功せず、ヘッドの 故障につながります。





◆ ゴムブレードの取りつけが正しくないと、プリントヘッドのクリーニングが安定せず、きれいな画質を出せないばかりか、 故障につながることもあります。 以下の点に注意して、正しく取りつけてください。



◆ 以下のような誤った取り付け方をした場合にはクリーニングが安定しません。 上図を参考に取りつけ直してください。





知

印刷する前に

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・

.

メニューツリー

ふろく

プリンターのメッセージが あるときのメンテナンス

G ワイパースポンジ交換

ワイパースポンジは、プリンターの交換メッセージが表示されたときに以下の手順に従って交換してください。 ワイパースポンジの交換周期は目安として約6ヶ月です。





古いワイパークリーニング液ボトルを少し 持ち上げ、中に入っている液をすべてプリ ンター内に流し込んだのを確認してから抜 きます。

◆ あらかじめ廃インクボトルが一杯になっていないか目視 確認してください。

ワイパースポンジを手前に引き出しながら 少しずつ立てるようにし、中に入っている 液がプリンター内にすべて流れ込んだのを 確認してから抜き取ります。

- ◇ ワイパースポンジがワイピングユニットから抜き 取れる場合、ワイパースポンジを抜き取り後、手 順**9**に進みます。
- ◇ ワイパースポンジがインク乾燥により固着して、 ワイピングユニットから取り外せない場合には下 記手順 8-a、8-b、8-c、8-d を実施してから手順 9に進みます。

■ 準備

8



⚠注意

- ◆ 上記 1、2、3は、シートマウントクリーニングキットA(IP6-261)の付属部品です。
- ◆ 上記 1、2 の使用済み品は廃棄しないで、シートマウントクリーニング作業に再利用してください。

8-a



スポイトを使用してシートマウント洗浄液 を 1ml 吸い上げます。 調整する

ふろく



センサーカバー

右側サイドフレームの内側、左図(a)部 にスポイト先端を当てて、シートマウント 洗浄液を注入します。

(注入されたシートマウント洗浄液は、サイドフレーム の内側面を伝って下方に垂れていきます)

同様に、指示部(b)、(c)、(d)、(e)、(f) についても各箇所 1ml ずつシートマウント 洗浄液を注入します。

⚠注意

◆ (f) 部にシートマウント洗浄液を注入する際は、スポイト先端をセンサーカバーよりも下方に差し込んでから実施してください。







ふろく

119

ワイパースポンジを手前に引き出しながら 少しずつ立てるようにし、中に入っている 液がプリンター内にすべて流れ込んだのを 確認してから抜き取ります。 注意

◆ ワイパースポンジを抜き取ることができない場合には、 手順8-aから再試行してください。

新しいワイパースポンジを取り付けます。

カチッと音がするまでプリンターの奥まで差し込んでく ださい。

新しいワイパークリーニング液ボトルを取 り付けます。

(「ワイパークリーニング液の交換」 〇〇 111 ページ)

キャッピングユニットカバーを閉めてから、 フロントカバーを閉めます。









______ ワイパースポンジヲ 77 コウカンコ゛カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ キャリッシ゛イト゛ウチュウ

シハ゛ラクオマチクタ゛サイ



12 コウカン シマシタカ? 0 \$ N O

メンテナンス

8-d

このほか、プリンターのメッセージによって、以下の消耗品を交換する場合があります。

OK)キーを押します。

・廃インクボトル

・ワイパークリーニング液

・ワイパーブレード

これらの交換方法は、毎日のメンテナンスを参照してください。

H シートマウントクリーニング

シートマウントクリーニングは、プリンターの実施警告メッセージが表示されたときに、ヘッドクリーニングシー トを使用してクリーニングを実施して下さい。実施の目安は一か月に一度です。





(MAINTENANCE) キーを押します。

🖌) キーを押して、「ヘッドメンテナンス」 を選択します。

(OK) キーを押します。



キャリッジがメンテナンスポジションに移動します。

フロントカバーを開けてから、キャッピン グユニットカバーを開けます。



(ок)

8

シートマウントセンシ゛ョウエキヲ シートノウエニカケテクタ゛サイ





灰色のシート(キャップクリーニングシー ト)を 7 個のキャップが隠れるようにセッ トします。

◆ 左図の矢印で示された4個のローラーにシートがかから ないようにして下さい。クリーニング効果を妨げること になります。





スポイトの 1ml の線までシートマウント洗浄液を吸い取り、灰色のシート(キャップクリーニングシート) に各色 2ml ずつ塗布します。

矢印に沿って1mlずつ、2回塗布します。

塗布する場所の目安は、矢印で示した各色のチューブ の位置から垂直方向に2回平行に塗布します。

6 色機の場合は、左から6つ目のキャップまでシートマウント洗浄液を塗布してください。

(7 色機の場合、7 つ目までで塗布してください。)



知

ふろく



10

ヒ°ンクイロノシートヲ セットシテクタ゛サイ





キャリッシ゛イト゛ウチュウ シハ゛ラクオマチクタ゛サイ



灰色のシートの上からピンク色のシート (ヘッドクリーニングシート)を被せ、爪に 引っ掛けます。

 ◆ しっかりと4か所のツメに引っ掛けてください。ヘッド に挟むときにめくれて正常にクリーニングを行えなくな ります。
4か所のツメは左図に示すようにキャッピングユニット の四隅にあります。



キャッピングユニットカバーを閉めてから、 フロントカバーを閉めます。

キャリッジがホームポジションに移動します。

⚠注意

◆ 手順 10 までの間に何らかのエラーが発生してガイダンスが終了してしまった場合は、手順 1 に戻って再度、シートマウントクリーニングを実施してください。





灰色のシート(キャップクリーニングシー ト)を取りはずし、(OK) キーを押します。

キャッピングユニットカバーを閉めてから、 フロントカバーを閉めます。

キャリッジがホームポジションに移動します。



廃インクボトルを確認し、満タンでないことを確認して

(クリーニングが実行されます。)

シートマウントクリーニングの完了です。

注意

- ◆ ピンクイロノシートおよび、ハイイロノシートを取りはずす前に、何らかのエラーが発生して、ガイダンスが終了してしまっ た場合は、以下の手順に従って、シートを取りはずして下さい。
 - 1. キャリッジをメンテナンスエリアに移動します。(〇) 127 ページの 「ヘッドガード清掃」を参照してください。)
 - 2. フロントカバーを開けてから、キャッピングユニットカバーを開けます。
 - 3. キャップ上に残ったピンクイロノシート及び、ハイイロノシートを取りはずします。
 - 4. キャッピングユニットカバーを閉めてから、フロントカバーを閉めます。
 - 5. キャリッジがホームポジションに移動します。
 - 6. 強力クリーニングを行ってください。(□ 227ページの「強力クリーニング」を参照してください。)





キャリッジがメンテナンスエリアへ移動します。

警告音が鳴ります

◇ キャリッジが移動する際、警告音が鳴ります。 警告音を鳴らさないようにする場合は、 190 ページを参照してください。

フロントカバーを開けてから、メンテナン スエリアカバーを開けます。

キャリッジ左右両側のヘッドガードの汚れ ている部分を、クリーニング棒 (または柔 らかい布)で清掃します。

汚れが酷い場合はクリーニング棒にキャッ プクリーニング液を浸して掃除してくださ い。



ノズル面の清掃は実施しないでください。 (専用のヘッドクリーニングシートをお使い ください。)

注意

◆ プリントヘッドのノズル面を、クリーニング棒でこすらないでください。故障の原因となる場合があります。



◆ メディアエッジガード清掃

888888

2

メディアがセットされている場合はメディ アを取りはずしてください。

メンテナンスエリアカバーを閉めてから、

フロントカバーを閉めます。

フロントカバーを開けます。

クリーニング棒をキャップクリーニング液 に浸けます。

のよお願い

◇ 清掃に使用したクリーニング棒を、キャップク リーニング液ボトルの中に入れないでください。 キャップクリーニング液が汚れてしまいます。

◇ クリーニング棒は一回限りの使い切り消耗品で す。毎回新しいクリーニング棒に交換して清掃し てください。



メディアエッジガード、ペットシートの汚 れ部分に擦りつけます。

柔らかい布で汚れを拭き取ります。





フロントカバーを閉めます。

◆ 外装 (フロントカバー) 清掃

プリンターの外装が汚れた場合は、水または水でうすめた中性洗剤を柔らかい布に含ませて、よくしぼってから 拭き取ってください。





- ◆ お手入れをするときは、プリンター電源のスイッチを必ずオフにしてから行ってください。
- ◆ シンナー、ベンジンなどの揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。塗装がはげたり変質することがあります。

◆ 加圧ローラー清掃

加圧ローラーがインク等で汚れた場合、メディアの印刷面を汚してしまうおそれがあります。 水または水でうすめた中性洗剤を柔らかい布に含ませて、よくしぼってから拭き取ってください。



注音

◆ お手入れをするときは、プリンター電源のスイッチを必ずオフにしてから行ってください。

◆ 布をグリットローラーで擦って、ゴミやホコリが出ないように注意してください。

◆ ペーパーガイド清掃

ホコリ、紙粉等で汚れた場合は掃除機等で吸い取ってください。インク等の汚れがひどいときは、中性洗剤を 湿らせた柔らかい布できれいに拭き取ってください。



注意

- ◆ お手入れをするときは、プリンター電源のスイッチを必ずオフにしてから行ってください。
- ◆ 紙粉を吹き飛ばさないでください。プリンターの内部に紙粉や埃が混入し故障などの原因となる場合があります。また画 質等に悪影響を与える場合があります。
- ◆ ロールエンドが紙管に糊付けされているメディアを使用した場合に、糊がペーパーガイドやプラテンに付いてしまう場合が あります。その様な場合は必ず清掃して糊を取り除いてください。



・塩ビの粘着剤等が付着した場合
・プラテンにインクが垂れてしまった場合
次の手順で清掃を行ってください。
(ここでは、インクでプラテンが汚れた場合を説明しています。)



フロントカバーを開け、ウエスをプラテン 上についたインクの上に置き、インクをし み込ませます。

インクが広がらないように注意してインク をウエスにしみ込ませてください。

プラテン上についたインクの跡を中性洗剤 に湿らせた柔らかい布できれいに拭き取り ます。

インクがプラテン上のバキューム穴に入り 込んでしまった場合には、市販の綿棒*で 穴の中に付着したインクをきれいに拭き取 り、次に綿棒*に中性洗剤を湿らせてもう 一度きれいに拭き取ります。

* 綿棒は、綿部の径が 3mm 程度のものを使用してく ださい。





3



J 自動印刷調整用のセンサーとイオナイザー周りの清掃

イオナイザーにより生成されるイオンの影響で、自動調整用のセンサー及びイオナイザーの周りにインクミストが 付着します。インクミストの付着は、自動印刷調整機能の精度悪化及び印刷物表面へのインクミスト塊落下によ る印刷物の汚れの原因となりますので、定期的な清掃が必要となります。インクミストの付着量は印刷データや イオナイザーの使用状況により異なります。実施の目安は一年に一度です。



知



自動印刷調整用のセンサー表面の汚れを、 クリーニング棒で清掃します。

キャリッジの左側底面を見ると、板金に3 個の穴が並んでいます。

それぞれの穴の奥に自動印刷調整用のセン サーがありますので、クリーニング棒で表 面を軽く擦り、インクミストを落してくだ さい。

注意

◆ 清掃時に、クリーニング棒には何もつけないでください。 センサーの故障の原因となります。



イオナイザーのノズル近傍をクリーニング 棒で清掃します。キャリッジ底面からイオ ナイザーノズル近傍を見ると、イオナイザー のカバー板金の内側にインクミストが集中 的に付着している部分が4面(図の①~④) にあります。

汚れている部分をクリーニング棒で擦り、 付着した汚れを落としてください。





∕₹注意

◆ イオナイザーのモジュール(青い部分)の中にはクリー ニング棒を挿入しないでください。イオン生成用の電 極は細い針金で作られているため、クリーニング棒で 触れると簡単に折れ曲がって、イオンを生成することが できなくなります。

メンテナンスエリアカバーを閉めてから、 フロントカバーを閉めます。

ふろく

その日使い終わったら

本機は定期的に自動でメンテナンス動作を行います。その日の印刷が終わっても、本機がメンテナンス動作が行えるように、以下の状態にしておいてください。

1. 電源は入れたままにしてください。



2. フロントカバーは閉じておいてください。



3. メディアは巻き取っておくか、または本機から取り外してください。

メディアを長時間セットしたままにしておくと、プラテン上でしわになったり、グリップ痕が付くことがあり ます。メディアを良好な状態に保つために、以下の操作をおすすめします。 特に塩ビはシワになりやすいので、必ず巻き取った状態にしておいてください。



-----Ē H F H

詳細な取り扱い方法

ふろく

知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

2週間以上、本機を使用しない時

本機はプリントヘッドの状態を良好に保つため、装置が待機状態になってから72時間経過したのち、フィル キャップ動作を行います。(その後は3日毎に行います。)

そのため、本機の電源は常にオンのままにしていただくことを推奨いたします。

電源オンのままでも、2週間以上使用しなかった場合は、以下の手順を参照してヘッドウオッシュ、インク充填、 日常メンテナンスを実施する必要があります。

やむを得ず電源オフで長期間使用しない場合は、以下を参照してサービスクリーンを実施後、電源をオフしてく ださい。



◇ キャップ内にインクを充填してプリントヘッド(ノズル面)をインクで浸し、乾燥によるノズル詰まりを防 ぐ機能です。





◆ プリントヘッド保護のために、本機にインクが空の状態で1ヶ月以上放置することは避けてください。

◆ サービスクリーン、ヘッドウォッシュ実行中にフロントカバーや加圧ローラーアップダウンレバーを開閉しないようにしてください。開閉すると、動作を最初からやり直す場合があり、インクやクリーニング液が無駄になる場合があります。



知っておきたいこと (MAINTENANCE) キーを押します。 ✔)キーを押して、「ヘッドメンテナンス」 メディアをセットする を選択します。 (OK) キーを押します。 調整する 🖌) キーを押して、「サービスクリーン」 を選択します。 メンテナンス (OK) キーを押します。 詳細な取り扱い方法 廃インクボトルが空であることを確認し、 (OK) キーを押します。 困ったときは・・・ インクホックスカハーヲ アケテクタ゛サイ

インクボックスカバーを開けます。

メニューツリー

ふろく







8

9





ヌキトリ		
ノコリシ゛カン		Y : Y Y
Y:YY	:残り時間(分:秒	10 秒単位)

Kインクカートリッシ゛ヲ ヌイテクタ゛サイ

インクトレイを取り出します。

(全てのインクトレイを取り出します。)



インクボックスカバーを閉めます。

廃インクボトルが空であることを確認し、 OK キーを押します。

抜き取りを実行します。

インクホ゛ックスカハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ

インクボックスカバーを開けます。



保管液カートリッジをセットしたインクト レイをセットします。

(全てのインクトレイをセットします。)

12

11



đ



、 インクホ`ックスカハ`ーヲ シメテクタ゛サイ

インクボックスカバーを閉めます。

廃インクボトルが空であることを確認し、 (OK) キーを押します。

インクホ゛ックスカハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ

インクボックスカバーを開けます。

16

↓サーヒ゛スクリーン	o J

۵

手順8~15までを繰り返す。

印刷する前に

メディアをセットする



of

◇ 別売のインクトレイに予め洗浄液カートリッジをセットしておくと、作業をスムーズに行うことができます。



(MAINTENANCE) キーを押します。

シキーを押して、「ヘッドメンテナンス」を選択します。

(OK) キーを押します。

シキーを押して、「ヘッドウォッシュ」を選択します。

廃インクボトルが空であることを確認し、 (OK) キーを押します。

 インクホ`ックスカハ`ーヲ アケテクタ゛サイ

インクボックスカバーを開けます。





インクホ゛ックスカハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ

インクボックスカバーを閉めます。

廃インクボトルが空であることを確認し、 (OK) キーを押します。

インクホ゛ックスカハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ

インクボックスカバーを開けます。



洗浄液カートリッジをセットしたインクト レイを全て取り出します。



インクボックスカバーを閉めます。


Ħ

廃インクボトルが空であることを確認し、

(OK) キーを押します。

手順 11~15までを繰り返す。

インクホ゛ックスカハ゛ーヲ

インクボックスカバーを開けます。



洗浄液カートリッジをセットしたインクト レイを全て取り出します。

· インクホ゛ックスカハ゛ーヲ

インクボックスカバーを閉めます。

印刷する前に

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

ふろく

詳細な取り扱い方法







(OK) キーを押します。

ツウジョウクリーニングが行われます。 クリーニングが終了すると元の画面に戻ります。



■ 印刷中以外に確認する



(ок)**キーを押します**。

(MENU) キーを押します。

シ キーを押して、「インクジョウホウ」を選択します。

(ок)キーを押します。

OKキーを押します。

残量(総量-インク使用量)が総量の2%を下回った 場合「LOW」を表示します。

◆ プリンター情報を見たい

メニュー情報を PDF 形式で USB メモリに書き出すことができます。



メニューツリー



■ 印刷中以外に確認する



(MENU) キーを押します。

キーを押して、「ジョウホウ」を選択し、 \mathbf{v} οκ) キーを押します。

シキーを押して、「メディアザンリョウ」を選択します。

(OK)キーを押します。

■ 印刷中に確認する

印刷中に USB の接続状態を確認することはできません。 印刷中以外に確認してください。

■ 印刷中以外に確認する



◆ システム F/W のバージョンを確認したい

■ 印刷中に確認する

印刷中にシステム F/W のバージョンを確認することはできません。 印刷中以外に確認してください。

■ 印刷中以外に確認する



メニューツリー

印刷する前に

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

◆ プリンターの走行距離を確認したい

■ 印刷中に確認する



(MENU) キーを押します。

(MENU) キーを押します。

キーを押して、「ジョウホウ」を選択し、 σκ キーを押します。

シキーを押して、「ソウコウキョリ」を 選択します。

>ジョウホウ 4 ↓ ソウコウキョリ 0 ОК 5 (>>ソウコウキョリ

OKキーを押します。

 YYYYYm

 長さ単位で設定された単位系で表示します。

メディアの取り扱い

◆ メディアを登録したい

トウロクメニューの中に、No.01 ~ 20 の 20 種類のメディアを登録することができます。 トウロクメニューは以下のようなメニューの並びになっており、「メディア選択」により編集するメディア No.を 変更することができます。

メディアごとに、(1)~(27)の27種類のパラメーターの設定値を保存することができます。



ここでは、メディア番号「02」のメディアに、送り調整値を入力する方法を例にして説明します。



(MENU) キーを押します。

キーを押して、「メディアトウロク」
 を選択します。



(OK)キーを押します。

(ок)キーを押します。

キーを押します。

ののキーを押します。 編集対象のメディアが「O1PAPER」から「O2Glossy」 に変更されました。

CANCED キーを押します。 トウロクバンゴウセンタクから抜けます。

キーを押して、「オクリチョウセイチ」
 を選択します。





CANCEL キーを押します。

オクリチョウセイチの設定から抜けます。

ONLINE) キーを押します。

■ プリセットメディア初期値

最大 20 種類 (メディア番号 01 ~ 20)のメディアが登録でき、登録したメディアの削除や変更も可能です。た だしメディア番号 01(PAPER) および現在本機にセットされているメディアを削除することはできません。以下 に初期値を示します。

メディア番号 設定内容	01	02	03	04	05	06
メディア登録名	PAPER	Glossy	Matte	Banner	BLT_B	LWT_B
送り調整値選択	データ	データ	データ	データ	データ	データ
送り調整値	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
往復調整値1	全 00					
往復調整値2	全 00					
往復調整値3	全 00					
往復調整値4	全 00					
ヒーター設定値選択	データ	データ	データ	データ	データ	データ
アフターヒーター温度	**°C	50°C	50°C	50°C	50°C	50℃
プリントヒーター温度	**°C	40°C	40°C	40°C	40°C	40°C
プリヒーター温度	**°C	45℃	45℃	45℃	45℃	45℃
その他						
メディア残量	Om	Om	Om	Om	Om	Om
イオナイザー	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
巻き取り方式	たるみ巻	たるみ巻	たるみ巻	テンション巻	テンション巻	テンション巻
エッジガード	使用する	使用する	使用する	使用する	使用する	使用する
スキューチェック	オン	オン	オン	オン	オン	オン
カラーストライプ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
吸着ファン	中	中	中	弱	弱	弱
メディア送りモード	通常	通常	通常	通常	通常	引き剥がし 最強
メディア戻しモード	オン	オン	オン	オン	オン	オン
オートクリーニング	印刷前&印刷後	印刷前&印刷後	印刷前&印刷後	印刷前&印刷後	印刷前&印刷後	印刷前&印刷後
ヘッド待機間隔	0 スキャン					
ヘッド待機時間	1 秒	1 秒	1秒	1秒	1 秒	1 秒
キャリッジ速度	標準	標準	標準	標準	標準	標準
メディア幅検出モード	自動	自動	自動	自動	自動	自動
メディア検出	オン	オン	オン	オン	オン	オン
メディア残量管理	管理しない	管理しない	管理しない	管理しない	管理しない	管理しない

※送り調整値や往復調整値は、お使いのメディアで調整をおこなってください。

◆ 左右の余白をできるだけなくしたい

■ メディアエッジガードの使用を「未使用」にする



印刷する前に

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー



(CANCEL) キーを押します。 エッジガードの設定から抜けます。

ONLINE) キーを押します。

(MENU) キーを押します。



シキーを押して、「メディアトウロク」を選択します。

(ок)キーを押します。

ショウホウ」を選択します。



(ок)キーを押します。)キーを押して、「カラーストライプ」 を選択します。 (ок)キーを押します。 キーを1回押します。

(ок)キーを押します。

CANCEL キーを押します。 カラーストライプの設定から抜けます。

ONLINE キーを押します。

印刷する前に

メディアをセットする

調整する



■ プラテンのファンの風量を弱くする場合

プラテンにメディアを吸着させる力(ファンの風量)を「弱」にします。コシの弱いメディアなどで、シワが発生 する場合は「ジャク」を選択してください。





キーを1回押します。

(OK)キーを押します。

(CANCEL) キーを押します。 キュウチャクファンの設定から抜けます。

ONLINE) キーを押します。

■ メディアの送りモードを変更する場合

使用するメディアによっては、メディアがプラテンやアフターペーパーガイドに張り付いて、スムーズにメディア が搬送できない場合があります。

このような場合は、メディア送りモードの設定を変更することで改善することができます。 メディア張り付きの程度によって、必要とする引き剥がし動作の度合いが変わります。 ご使用のメディアの張り付き度合いに応じて、メディア送りモードを変更してご使用ください。

ツウジョウ	通常のメディア送り出しを実施します。
ヒキハガシ ジャク	印刷開始時、ポーズ解除時のメディアの送り出しで引き剥がし動作を実施します。 このモードを利用する場合は、次の項目も必ず同時に設定してください。 ・マキトリホウシキをタルミマキにする。 (①56 ページ の「テンション巻き方式/たるみ巻き方式の設定手順」を参照)
ヒキハガシ キョウ	 ヒキハガシ ジャクの動作に加え、毎スキャンのメディアの送り出しでも引き剥がし動作を実施します。 このモードを利用する場合は、次の項目も必ず同時に設定してください。 ・マキトリホウシキをタルミマキにする。 (156ページの「テンション巻き方式/たるみ巻き方式の設定手順」を参照)
ヒキハガシ サイキョウ	 ヒキハガシ ジャクの動作に加え、メディアの送り出しをゆっくり行います。 このモードを利用する場合は、次の4つの項目も必ず同時に実施してください。 1 キュウチャクファンをジャクにする。 (□ 164 ページの「プラテンのファンの風量を弱くする場合」を参照) ② 巻き取り装置を使用し、マキトリホウシキをテンションマキにする。 ③ 巻き取り方向スイッチを外巻きに設定する。 ④ 巻き取り装置を手前に引き出した位置で使用する。 (②~④については、□ 56 ページの「巻き取り装置にメディアを巻き付ける」を参照) 薄手のターポリンなどのより張り付きやすいメディアには、このモードの使用を推奨します。
シワケイゲン	前回の印刷終了から5分以上経過していた場合に、55cmのメディアフィードを してから印刷を開始します。それ以外の動作は、ツウジョウと同じです。 ソルベント用コート紙を使用する場合のしわ対策モードです。

◇「ヒキハガシ ジャク」、「ヒキハガシ キョウ」、「ヒキハガシ サイキョウ」を選択した場合、印刷速度が「ツ ウジョウ」に比べて遅くなります。

巻き	き取り方式	たるみ巻き	テンション巻き	テンション巻き	
吸	着ファン	チュウ(推奨)	ジャク(推奨)	ジャク(必須)	40
メテ	ディア送り モード	ツウジョウ ジャク キョウ シワケイゲン	ツウジョウ シワケイゲン	サイキョウ	れつて印刷す
(対象	象メディア)	(塩ビ、コート紙)	(ターポリン)	(薄手ターポリン)	さる。
	内巻き				いこと
]		使用できません		使用できません	メディアを
÷ C					ロセットする
1	フ [°] リント 01:PA	デ [*] キマス PER/1626mm	(MENU) キーを押	します。	調整する
2	(MENU ↓ ジョウ:	ホウ ©	シキーを押しを選択します。	ノ て、「メディアトウロク」	メンテナンス
		\blacksquare			
3	(MENU \$\$\delta\overline{\pi}^* + 3\$	 7 h ή □ / 0 	ок キーを押し	ます。	詳細な取り扱い方法
4		アトウロク マハ*ンコ*ウセンタク ①	シャーを押 ジョウホウ」を	して、「ソノタノトウロク :選択します。	困ったときは・・・
Ľ	$\sum \frac{1}{2} $		OK キーを押し	ます。	×
3	‡ <i>\\</i> /\$/	トウロクジョウホウ ◎ ● OK			パーコーツリー

詳細な取り扱い方法 167

いろく



)キーを押して、「メディアオクリモー ド」を選択します。



CANCEL キーを押します。 メディアオクリモードの設定から抜けます。

(ONLINE) キーを押します。

◆ メディアの浮き上がりを防止したい

プラテンにメディアを吸着させる力(ファンの風量)を「強」にします。



(MENU) キーを押します。



✔)キーを押して、「メディアトウロク」 印刷する前に を選択します。 (ок)キーを押します。 メディアをセットする キーを押して、「ソノタノトウロク ョウホウ」を選択します。 調整する (OK)キーを押します。 メンテナンス ▶)キーを押して、「キュウチャクファン」 を選択します。 詳細な取り扱い方法 (ок)キーを押します。 キーを押して、「キョウ」を選 困ったときは・・・ 択します。 (ок)キーを押します。 メニューツリー CANCEL キーを押します。 キュウチャクファンの設定画面から抜けます。 ふろく



◆ 厚いメディアに印刷したい

■ プリントヘッドの高さを変える

厚いメディアに印刷する場合はプリントヘッドとメディアがこすれないようにプリントヘッドの高さを変える必要 があります。

(ONLINE) キーを押します。

メディアの厚さに応じて、プリントヘッドの高さを切り替えて使用してください。

プリントヘッドの高さの切り替えは、ヘッド上下機構を使って行います。

その場合は、操作パネルからトウロクメニューを選択し、プリントヘッド高さを調節します。





印刷する前に

メディアをセットする

困ったときは・・

.

メニューツリー



ヘッド上下機構の設定位置



設定位置を右向きにすると、 キャリッジの位置が高くなる。 (厚手のメディア用)



次にキャリッジの手前を持ち上げながら、 右のヘッド上下機構を使って切り替えます。

参考

◇ ヘッド上下機構を左右とも横向きに設定すると、 キャリッジの位置は、約0.5mm高くなります。 一般的に光沢塩ビ・マット塩ビは通常の高さ、ター ポリン、FFは高い設定で使用します。 メディアの厚さが0.5mm以上ある場合は、メディ アの種類にかかわらず高い設定にしてください。 また、薄手のメディアでも、メディアのシワや浮 き等によりプリントヘッドとこすれる場合は、高 い設定で使用してください。

ヘッド上下機構の位置を切り替えた後、手 で軽くキャリッジを下方に押し付けてくだ さい。

注意

◆ この操作を行わないと、プリントヘッドの高さが正確に 切り替わらないことがあります。

ヘッド固定ねじ2本を締めます。

注意

◆ ヘッド固定ネジはマイナスドライバーなどを使い、緩まないようしっかりと締めてください。 ヘッド固定ネジが緩い場合、ヘッド高さが左右で傾いたりして、印刷結果に影響が出る場合があります。

メンテナンスエリアカバーを閉めてから、 フロントカバーを閉めます。

10



- ◆ ヘッド固定ねじ2本をしめたままヘッド上下機構を動かさないでください。ヘッド上下機構が破損する場合があります。
- ◆ プリントヘッドの高さを変更すると、双方向印刷での印刷ずれが起きる場合があります。その場合、ADJUSTの「オ ウフクチョウセイ」で、往復調整をおこなってください。
- ◆ プリンターの側板とキャリッジとの隙間が狭く、ヘッド上下機構やヘッド固定ねじに手が届かない場合は、手でキャリッジを右(または左)に移動させてください。
- ◆ ヘッド固定ねじがゆるんだ状態でキャリッジが動くと、メディアやエッジガードとこすれて、画質不良・故障の原因になりますので、左右のヘッド固定ねじをしめたことを確認してください。
- ◆ ヘッド上下機構は両方同時に操作して下さい。また、必ず両方同じ位置にしてください。

0

◆ ヘッド高さの調整中は警告音が鳴ります。

◆ 印刷物のミスト汚れを防ぎたい

ミスト汚れが発生するメディアに対してイオナイザーを「オン」に設定します。 すべてのメディアに対して「オン」に設定するのではなく、メディアの特性に合わせてモードを選択してください。 イオナイザーを「オン」に設定すると、印刷中に自動印刷調整用の青色 LED が点灯します。



っておきたいこと

知

調整する



(ок)キーを押します。

・・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
<





CANCEL キーを押します。 イオナイザー設定から抜けます。

ONLINE) キーを押します。

◆ オートクリーニングのタイミングを変えたい

プリントヘッドの状態を良好に保つために、プリンターが自動で実行するクリーニングのモードを、登録されているメディアごとに変更することができます。メディアの特性に合わせてモードを選択してください。

インサツマエ& インサツゴ	過去の印刷履歴に基づいて、印刷開始時もしくは印刷終了時に、オートクリーニングを実 行します。	
インサツマエ& インサツトチュウ	過去の印刷履歴に基づいて、印刷開始時もしくは印刷の途中で、オートクリーニングを実 行します。 クリーニング後、プリンターは中断していた印刷の残りを開始します。	
オフ	 オートクリーニングを実行しません。次のような場合に設定してください。 ・ 複数データを連続印刷する際に、途中でオートクリーニングが入ると、データごとの 印刷結果が著しく変化するようなメディアを使用する場合。 オフを選択した場合は、お客様の判断により、適時、手動でのクリーニングを実行してく ださい。 	
セツヤク	過去の印刷履歴に基づいて、印刷開始時もしくは印刷終了時に、オートクリーニングで 行します。 ※「セツヤク」を選択した場合、「インサツマエ&インサツゴ」の設定時よりも、オートク ニングを実行する周期が長くなります。	

⚠注意

オートクリーニングの設定を「オフ」または、「セツヤク」にした場合、以下に注意してください。

- ◆ クリーニングを長時間実施しない場合、印刷抜けが起こる場合があります。
- ◆ 印刷抜けを防ぐために、「クリーニングノ ジッシヲ オススメシマス」のパネル表示にしたがって、手動でのクリーニングを実行してください。

ここでは、メディア番号2に登録されているメディアのオートクリーニングを「インサツマエ&インサツト チュウ」にする方法を例にして説明します。



(MENU) キーを押します。





印刷する前に



ショウホウ」を選択します。

シキーを押して、「オートクリーニング」を選択します。

- (CANCEL) キーを押します。 オートクリーニング設定から抜けます。
- ONLINE キーを押します。

◆ 登録されているメディアをコピーしたい

ここでは、メディア番号2番に登録されているパラメーターをメディア番号10番にコピーする方法を一例にし て説明します。





CANCED キーを押します。 メディアトウロク コピーから抜けます。

ONLINE キーを押します。

◆ メディアをセットし直さずに、登録したメディアの種類を切り替えたい

ここでは、メディア番号 01 番の PAPER から、メディア番号 02番の Glossy に切り替える方法を一例にして 説明します。





(ок)キーを押します。

CANCED キーを押します。 メディアトウロクヘンコウから抜けます。

ONLINE) キーを押します。

◆ メディアを送りたい/戻したい

送り/戻しは、オンライン状態(アイドルモード)から操作をおこなうことができます。



知っておきたいこと

困ったときは・・・

179

メニューツリー

◆ 印刷の書き出し位置を移動させたい

ー度印刷したメディアを巻き戻し、印刷の開始原点を設定し直して余白部分に印刷することによって、余白部 分を有効に活用することができます。

⚠注意

◆ この作業はできるだけ短時間で行ってください。短時間で行えなかった場合は、プリントヘッドが乾燥し、吐出不良を起こす可能性があるので、クリーニングを行ってください。



メディアを戻します。

(^[1] 179 ページの 「◆メディアを送りたい/戻した い」)

◆ メディアを戻す際は、印刷済みの画像イメージが充分に 乾いた状態で行ってください。乾燥が不充分な状態で本機能を使用すると、1回目の印刷画像イメージが損なわれる場合があります。

キーを押します。

(ок)キーを押します。

キャリッジが移動し、原点設定可能状態になります。



キャリッジカバー前面左下の「ママーク」を原点にする 位置に合わせてください。




◆ 原点設定モードの解除

設定した原点を解除するには、メディアをセットし直すか、または以下の操作をすることで原点設定モードを解除することができます。



原点設定モードのオンライン(アイドル) 状態で、(く) キーを押します。

ок)キーを押して、原点設定モードを解除 します。

〇印が消えます。

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

◆ 印刷が始まる直前に前の余白を調節したい

印刷を開始する際のプリヒート中にメディアを送り/戻しすることで、前の印刷結果との余白を調節すること ができます。

øß

ひとたび印刷(スキャン)が始まってしまうと、 そのジョブが終了するまで、この機能はお使いいただけません。



印刷を開始する際のプリヒート中に^(ONLINE) キーを押します。

プリントポーズモードになったら、 キーを押し続けます。

シ キーを離すとメディアの送りが止まり ます。

(ONLINE) キーを押すと印刷を再開します。



◆ 印刷の書き出し位置(余白量)を固定にしたい

スキューチェックの設定をオンからオン(ヨハクコテイ)に変えることで、メディアが蛇行しても各ジョブのメディ ア端からの書き出し位置(余白量)を固定にすることができます。



印刷する前に

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー



(OK)キーを押します。

(CANCEL) キーを押します。 スキューチェックから抜けます。

(ONLINE) キーを押します。

詳細な取り扱い方法 185

知

っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは

.

メニューツリー

ふろく

■ スキューチェックの設定を「オン」にした場合と「オン(ヨハクコテイ)」にした場合の 書き出し位置(余白量)の違い

メディアによっては、真っ直ぐセットしてもメディア自身の巻ずれや、搬送時のメディアの蛇行によって多少の スキューが発生します。

通常の場合、印刷イメージがメディア幅から外れることはありませんが、印刷イメージ幅がメディア幅と近い 場合、印刷イメージがメディアからはみ出してしまう場合があります。(スキューチェック:「オン」設定)

そこで、印刷開始毎にメディアのエッジを検出し、余白の量を一定にすることで、はみ出しを防ぐことができます。(スキューチェック:「オン(ヨハクコテイ)」設定)

この機能を余白固定モードといいます。

<u>_____</u>注意

◆ 余白固定モードは、余白の量を一定にすることができる反面、同じ幅サイズの印刷を複数行った際、ジョブごとに印刷結果がずれてしまう場合があります。



の設定が「ジドウ」の場合のみ機能します。



印刷中にメディアエッジガードがメディアから外れてしまったり、位置の微調整を行いたい場合、メディアエッジガードのシート部を操作することで、カバーを開けずに調整ができます。

⚠注意

◆ キャリッジがメディアエッジガードの上を通過している最中には、調整を行わないでください。 メディアエッジガードやメディアがヘッド面に接触し、ノズル抜けや故障を起こす可能性があります。





メディアエッジガードを傾けることで、スムーズにスライドさせることができます。

<メディアエッジガードを左にスライドさせる場合>



<メディアエッジガードを右にスライドさせる場合>



印刷中にプリントポーズモードにすると、ジョブキャンセルせずにフロントカバーを開閉することができます。 メディアのエッジがメディアエッジガードから外れた場合や、搬送経路中にゴミが付着していた場合には、 ポーズ後にフロントカバーを開けて、メディアエッジガードのセットし直しやゴミの取り除きを行ってください。



◆ 印刷中にメディアの皺を少し直したい

印刷中(オンライン中)にメディアが皺になってしまった場合、一旦プリントポーズモードにすると、加圧ローラーアップダウンレバーを解除することができます。

<u>____</u>注意

◆ 加圧ローラーアップダウンレバーを解除するとメディアの皺を低減することができますが、メディアの位置はズレてしまい、 画質が劣化する場合があります。



プリントポーズモードになったら、加圧ロー

ラーアップダウンレバーを解除します。

印刷中に(ONLINE) キーを押します。



加圧ローラーアップダウンレバーを解除する際、 手で押さえるなどしてメディアがズレないように してください。

加圧ローラーアップダウンレバーを下げる とプリントポーズモードの表示に戻ります。

(ONLINE)キーを押すと印刷を再開します。

リフターの使い方

加圧ローラー全幅にメディアがかからないと、メディアのシワやスキューなどが起こりやすくなります。そのよう な場合は、シワが発生した近くの加圧ローラー上部のリフターを手前に引き、加圧ローラーの加圧力を解除して ください。



▶ メディアによっては、シワが取りきれない場合があります。



リフターを手前に引く必要のない場合の例 (加圧ローラーの加圧要)



リフターを手前に引く場合の例 (加圧ローラーの加圧力解除要)







(ヘ)、(マ)キーを押して、変更したい警告 印刷する前に)) 音の種類を選択します。 (OK)キーを押します。 (✔) キーを押して、「オフ」を選択します。 (OK)キーを押します。

詳細な取り扱い方法 困ったときは・・・

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

クリーニングオプション

◆ プリントヘッドを選んでクリーニングしたい

本機では、6個または7個のヘッドが以下の3グループに分かれています。グループごとにクリーニングを実施 する/しないを選択することができます。(初期値は、「全ヘッド実施」です。)





クリーニングするヘッドグループを選択し ます。

インクの色とヘッド番号は、下表のように対応しています。

ヘッドグ	ループ 1	ヘッ	ヘッドグループ 2			ヘッドグループ 3	
Lc	Lm	С	Y	К	М	Gy	
1	2	3	4	5	6	7	

① 🕄 🔊 キーででプリントヘッド番号を選択します。

② 、 キーで番号を表示または非表示にします。 クリーニングしたいプリントヘッド番号を表示させて ください。



1 つの番号の表示 / 非表示を切り替えると、同じ グループの他のヘッドも表示が切り替わります。

OK キーを押します。 左の例は、Lc、Lm ヘッドと、M、Gy ヘッドをクリー ニングします。



プリントデキマス

01: PAPER/1626mm

7

(OK)キーを押します。

廃インクボトルが一杯になっていないことを目視で確認 します。

クリーニングが始まります。

クリーニング動作は数分かかります。 クリーニングが始まると、完了までの残り時間が表示されます。 残り時間表示は、10秒ごとに更新されます。

オンラインへ遷移します。

クリーニング動作が終了するとオンラインへ遷移します。

困ったときは

送り調整値の管理

◆ 印刷中に送り調整値を変更する



「プリントチュウ」表示中に、 🔷 キーま たは 文 キーを押します。



調整値は、変更した時点でただちに印刷に反映されます。 「印刷開始時の調整値」の表示は、印刷が終了するま で変わりません。

変更後の値が調整値として登録され、次の印刷から適 用されます。

なお印刷中の調整値表示画面で3秒間キー操作が無い場合、自動的に元の表示に戻ります。

印刷条件について

本機には、同一解像度の濃度違いを含む、合計 12 種類の印刷モードがあります。 さらにこの 12 種類の印刷モードそれぞれに、2 種類のキャリッジ速度を選択することができます。 メディアの種類やアプリケーションに必要な生産性・画質に合わせて、条件をお選びください。

まずは印刷モード「標準」、キャリッジ速度「標準」をご使用ください。 生産性または画質を重視する場合に、他の印刷モードをご利用ください。



◇ メティアによっては、印刷モードごとに送り調整値が異なる場合があります。
◇ バンディング等が目立つ場合は、送り調整値をマニュアルで調整してみてください。(□ 79 ページ)

◆「インサツモード」設定

印刷解像度、パス数、印刷濃度の組み合わせを設定します。 解像度とパス数が小さいほど、高い生産性を発揮します。 解像度とパス数が大きいほど、粒状感のない高精細な画質を得ることができます。

			最大濃度	
インサツモード設定	印刷解像度	パス数	(ヒョウジュンを 1とした場合)	特徴
サイコウソク(最高速)	360dpi x 180dpi x DDP	3	1	最速モードです。 生産性を最優先する場合にお使いく
				ださい。
コウソク(高速)	360dpi x 360dpi x DDP	4	1	画質よりも生産性を重視するモードです。
ソクドユウセン (速度優先)	360dpi x 360dpi x DDP	6	1	標準モードよりも、やや生産性を重視するモードです。
ソクドユウセン コウノウド	360dpi x 360dpi x DDP	6	1.5	高濃度印刷で、もっとも生産性を重視するモードです。
(速度優先 高濃度)				インク量が多く乾燥しにくいので、巻き取り装置は使用
				しないでください。
ヒョウジュン (標準)	540dpi x 360dpi x DDP	6	1	標準モードです。通常はこのモードをお使いください。
ヒョウジュン コウノウド	540dpi x 360dpi x DDP	6	2	高画質 高濃度モードよりも、生産性を重視するモード
(標準 高濃度)				です。
				インク量が多く乾燥しにくいので、巻き取り装置は使用
				しないでください。
ガシツユウセン(画質優先)	540dpi x 540dpi x DDP	9	1.1	標準モードよりも、やや画質を重視するモードです。
ガシツユウセン コウノウド	540dpi x 540dpi x DDP	9	1.9	高画質 高濃度モードよりも、やや生産性を重視するモー
(画質優先 高濃度)				ドです。
				インク量が多く乾燥しにくいので、巻き取り装置は使用
				しないでください。
コウガシツ(高画質)	720dpi x 720dpi	12	1	高精細な画質を得られるモードです。
コウガシツ コウノウド	720dpi x 720dpi	12	2	高濃度印刷の場合、通常はこのモードをお使いください。
(高画質 高濃度)				
サイコウガシツ	900dpi x 900dpi	15	1.5	もっとも高精細な画質を得られるモードです。
(最高画質)				
サイコウガシツ コウノウド	900dpi x 900dpi	15	3.1	高濃度印刷でもっとも高精細な画質を得られるモー
(最高画質 高濃度)				ドです。

* DDP: Dynamic Dot Printing 数種類の大きさのドットを用いることで、小液滴による粒状感低減と、大液滴による高濃度を両立 するテクノロジーです。



- ◆ 推奨の印刷モード設定は、標準濃度の場合は「ヒョウジュン」、高濃度の場合は「コウガシツ コウノウド」です。 他のモードは生産性や画質などの、お客様が重視する目的に応じて使い分けてください。
- ◆「高濃度」はインク量が多いため、にじみやインク乾燥不良、巻き取り不良の原因になることがあります。 その場合はより遅い印刷速度で印刷してください。

◆ 「キャリッジソクド」 設定

キャリッジ速度を「ヒョウジュン (標準)」と「テイソク (低速)」の2種類から選択できます。 通常は、「ヒョウジュン」でお使いください。より高精細な印刷をするときに「テイソク」を選択してください。 (「キャリッジ速度」は、RIP から切り替えることはできません。操作パネルまたは CP_Manager を使ってくだ さい)





◆ 印刷速度について

印刷速度は「インサツモード」と「キャリッジソクド」設定の組み合わせによりおよそ次の表のようになります。 使用するメディア幅などの条件によっては本速度より低下する場合があります。

IP-6620の印刷速度(*1)

インサッエード記令	キャリッジソクド設定		
<u>インリ</u> アモート設定	ヒョウジュン	テイソク	
サイコウソク(最高速)	66.5m ² /h	40.6m ² /h	
コウソク (高速)	49.7m ² /h	30.4m ² /h	
ソクドユウセン (速度優先)	22 1m ² /b	20.2m ² /h	
ソクドユウセン コウノウド (速度優先 高濃度)	33.1114/11		
ヒョウジュン (標準)	02.0m ² /b	14.2m ² /h	
ヒョウジュン コウノウド (標準 高濃度)	23.9114/11		
ガシツユウセン(画質優先)	16.0m²/b	0.5m ² /b	
ガシツユウセン コウノウド (画質優先 高濃度)	10.0114/11	9.0114/11	
コウガシツ(高画質)	0.0m²/b	E 4m ² /b	
コウガシツ コウノウド (高画質 高濃度)	9.21114/11	5.41114/11	
サイコウガシツ(最高画質)	$6 \text{ Om}^{2/b}$	2.5m ² /h	
サイコウガシツ コウノウド (最高画質 高濃度)	0.0114/11	0.011/11	

*1 印刷速度の数値は、1626mm(64インチ)幅のロールに全幅でプリントした場合の速度を記載しています。



各ヒーター温度は、トウロクメニューで設定されたヒーター温度が自動設定されます。したがって、通常はヒーター コントロールメニューを操作する必要はありません。ヒーターコントロールメニューは、印刷中に温度の微調整を 行う場合や、現在のヒーター温度を確認する場合に使用します。

◆ ヒーター温度設定の流れ

①メディアに登録された初期値温度でスタンバイ



メディアセット時にメディアの種類を選択すると、そのメディア に対して設定されている各ヒーターの温度初期値がメニュー上 に表示されます。

② RIP データを受信して加熱開始



RIP(プリントデータ、ジョブ)で温度設定をしている場合は、ヒー ターコントロールメニュー上の設定温度は上書きされます。

◇ RIP で設定されている温度を無効にして、操作パネルで設定されている初期値を使用したい場合には、トウロクメニューのヒーター設定値選択の設定をパネルにします。

③設定温度近くになると印刷開始



④印刷中にヒーター温度を変更



アフター、プリント、プリのすべてのヒーターの現在温度が設 定温度より1℃低い温度に到達すると、印刷を開始します。



◇ ヒーターの設定最高温度は以下の通りです。

アフターヒーター:55℃ プリントヒーター:55℃ プリヒーター:55℃

◇ 印刷が終了しても、本項で変えられた設定温度が、メディ アをセットし直すまで(または電源をオフするまで)「設 定温度」として残ります。 ただし、トウロクメニューのヒーター温度の設定は変更さ

印刷中はヒーターコントロールメニューで設定温度を変えること により、印刷しながら温度が変更できます。

‡∎■ 45 50 45°C Aft 40 +50 45Pre

れません。



◆ ヒーターコントロールメニューの表示を終了する

ヒーターコントロールメニュー表示中に (HEATER) キーを押します。

■ ヒーターコントロールメニュー表示が自動で終了する場合

ヒーターヒョウシ゛シュウリョウ

ヒーターコントロールメニュー表示状態で、キーが約30秒入力されない場合、自動的に「ヒーターヒョウシジュ ウリョウ」と表示した後、ヒーターコントロールメニューの表示が終了します。 この表示中は、キー入力は無効となります。

■ メディア種類とヒーター設定に関する参考情報

メディアの種類ごとの、ヒーター設定温度とプリントモードの参考設定値(初期値)は、以下の通りです。ご使用のメディアにより、設定を変更してお使いください。

マニッマム粘	マニッマの話海源中	推奨	プリントエード		
	スノイアの性規選択	アフターヒーター	プリントヒーター	プリヒーター	ノリンドモード
光沢塩ビ	Glossy	50℃	40°C	45℃	標準 / 双方向
光沢なし塩ビ	Matte	50℃	40°C	45℃	標準 / 双方向
ターポリン	Banner	50℃	40℃	45℃	標準 / 双方向

ヒーター設定温度は、下記の範囲内での設定を推奨します。

プリヒーター: 50℃以下 プリントヒーター: 45℃以下

アフターヒーター:55℃以下

注意

- ◆ プリントヒーターを高温に設定すると、インクの定着性は良くなりますが、メディアのシワや印刷面のマット化の原因になる場合があります。メディアの種類や印刷モードにあわせて調整してください。
- ◆ プリントヒーターを高温に設定すると、安定した印刷品質を得るために、自動的に印刷速度を落として印刷する場合があります。
- ◆ プリヒーターの温度は、プリントヒーター温度に対して+5℃を目安に設定してください。プリヒーターとプリントヒーターのバランスが悪いと、メディアにシワが発生する場合があります。
- ◆ プリントヒーターを高温にすると印刷抜けが発生することがあります。

▶ 初期値温度を設定する



(MENU) キーを押します。

シキーを押して、「メディアトウロク」を選択します。



.

メニューツリー

◆ ディレイ時間を設定する

印刷終了後、ヒーター設定温度を維持する時間を設定します。



(MENU) キーを押します。

印刷終了後、ヒーターのスタンバイ設定温度を維持する時間を選択します。(スタンバイ設定温度に移行する時間も含みます。)



(MENU) キーを押します。

シキーを押して、「プリンターセッテイ」を選択します。

(ок)キーを押します。

キーを押して「メディアヒーターセッ
テイ」を選択し、OK キーを押します。

 ◇ キーを押して「スタンバイジカン」を 選択し、○K キーを押します。

(OK)キーを押します。

印刷する前に

印刷中にインク切れになったとき

本機はオンライン印刷中、印刷動作を中断することなくインクカートリッジを交換をすることができます。 インク切れになった場合、インク LED 🍋 が消灯します。表示されたメッセージに従って対処してください。



インク LED が消灯します。

インク交換のメッセージが表示され、警告 音が鳴ります。

インクボックスカバーを開けてインクカー トリッジを交換します。

(💭 205 ページの「インクカートリッジの装着・交 換」)



◇ インク切れのまま印刷が終了した場合、インク切れを知らせる警告音が鳴り続けます。

- ただし、インク切れ以外のエラーが同時に発生している場合は、警告音は鳴りません。
- ◇ 警告音を止めるには、以下の操作を行ってください。
 - ・インク切れになったインクカートリッジを交換する。
 - ・インクボックスカバーを開閉する。

インクボックスカバーを開閉した場合は、一時的に警告音は止まりますがこのまま印刷を行うと再度警告音 が鳴りますので、すみやかにインク切れになったインクカートリッジを交換してください。

◇ インク切れになったときに警告音を鳴らさないようにする場合は、 □ 190 ページを参照してください。

◆ インクカートリッジの装着・交換

インクトレイは色ごとに装着位置(スロット)が決まっています。必ず所定のスロットに差し込んでください。



⚠注意

- ◆ 次の状態ではインクトレイを抜かないでください。本機の状態によっては、インクが本機内部にこぼれて故障の原因となる場合があります。
 - ・停電やプリンターブレーカーオフなどが原因で、本機に電源が入っていない場合。
 - ・インクエンド以外のエラーが発生している場合。
- ◆ インクカートリッジのプレート内の接点には触れないでください。



インクボックスカバーのノブを押して、イ ンクボックスカバーを開けます。

2



交換するインクカートリッジの色を確認し、 本機からインクトレイを抜き取ります。



インクが未装着の場合は手順4 へ進んでください。

インクトレイから、空になったインクカー トリッジを取り外します。

インクカートリッジのプレート下部の2ヶ所の爪を押し、プレートを上方向へ抜きます。

 インクトレイのフックからインクカートリッジを外し ます。

新しいインクカートリッジを箱から取り出し、インクトレイにセットします。

インクカートリッジの穴(末端部の2ヶ所)をインクトレイのフック(2ヶ所)に引っ掛けます(①)。その後、プレートをインクトレイに、カチッと音がするまで差し込みます(②)。



5



奥までしっかりと差し込んでください。

インクボックスカバーを閉めます。



🚽 交換終了です。

6

・正常に終了した場合は、オンラインの状態、またはオフラインの状態に戻ります。

- ・正常に終了しなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。手順】に戻ってやり直してください。
- ・インク交換中でも、サブカートリッジ内にインクが残っている間は印刷します。

本機を移動させたいとき

本機を移動させたい場合は、販売店またはサービス拠点にご連絡ください。

数メートルの平面的な移動をやむを得ず行う場合は、下記の点に注意して行ってください。

- ◆ メディアを本機に乗せたまま移動させないでください。メディアの重みで本機が破損する恐れがあります。
- ◆ 移動前に本機下のレベラー(前面2箇所、背面2箇所)を緩め上げてください。また、移動完了後は必ず全てのレベラー を締めて固定してください。
- ◆ 移動の際、レベラーに障害物が当たらないよう気を付けてください。
- ◆ 移動の際、巻き取り装置の左右のキャスターが床に当たらないように注意してください。



◆ 巻き取り装置のキャスターが床に当たる場合には、下図内の丸で囲まれたねじを取り、キャスターを取りはずしてください。 キャスターは左右にそれぞれ1個ずつ取り付いています。取りはずさず移動させた場合、巻き取り装置のキャスターを破 損させる恐れがあります。





困ったときは・・

 メニューツリー

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

故障?と思う前に

本機の故障と思う前に、次のことを点検または確認して対処してください。

電源が入らない

点検/確認項目	対処方法
電源コードの接続状態	コンセントに正しく接続してください。
 コンセントへの電源供給	コンセントに電源を供給してください。
	電源電圧が適正か確認してください。
主電源スイッチのオン / オフ状態	主電源スイッチをオンにしてください。
	(🛄 32 ページの 「電源をオンする」)

ヒーターをオンにしたのにペーパーガイドが熱くならないらない

	対処方法
プリンター本体の状態	ペーパーガイドは、印刷中、またはヒーターコントロールメニューによってヒーター
	がオンに設定されているときに加熱されます。画像を印刷するか、もしくはヒーター
	をオンに設定して、ペーパーガイドが加熱されているか確認してください。
	(🛄 198 ページの 「ヒーターの設定をする」)
コンピュータのソフト RIP の設定	ヒーターの温度設定は、コンピュータのソフト RIP から設定することも可能です。
	コンピュータの設定を確認してください。
ヒーターコントロールメニュー	加熱したいヒーター(アフターヒーター/プリントヒーター/プリヒーター)を再度
	オンにした後、画像を印刷するか、もしくは強制的にヒーターをオンに設定して、
	ペーパーガイドが加熱されているか確認してください。
	(🛄 198 ページの 「ヒーターの設定をする」)
電源電圧の確認	AC200V に接続してください。

正常に立ち上がらない、動作しない

点検/確認項目	対処方法
エラー LED の点灯と LCD の	エラーメッセージに従って対処してください。
メッセージ表示	(🛄 215 ページの 「エラーメッセージが表示されたとき」)

印刷できない

	対処方法
USB ケーブルの接続状態	USB ケーブルを正しく接続してください。
	(🛄 35 ページの 「USB ケーブルを続接する」)
エラー LED の点灯と LCD の	エラーメッセージに従って対処してください。
メッセージ表示	(🛄 215 ページの 「エラーメッセージが表示されたとき」)
 エラー LED 消灯	テスト用の画像を印刷してください。
	(🛄 99 ページの 「ノズルプリントの実施チェック」)
	(ソフト RIP の「テストパターン」が印刷できることを確認する)
プリントヘッドのクリーニング	プリントヘッドのクリーニングを実施してください。
	(🛄 97 ページの 「クリーニングを個別に行う手順」)

印刷を開始したのに、操作パネルに「プリヒートチュウ」 と表示されたまま、なかなか印刷されない

点検/確認項目	対処方法
室温	室温をあげてください。(推奨温度:20 ~ 25℃)
風の影響	ペーパーガイドにエアコン等の風が当たっている場合は、風が当たらないように
	してください。(風向きの変更、本機の向き、配置の変更など)

送信したデータがなかなか印刷されない

点検/確認項目	対処方法
オンライン LED (点滅しているか)	コンピュータとの通信条件を確認してください。

メディアジャム(メディア詰まり)が多発する

	対処方法
メディアの種類が合っているか	メディアの種類の設定がセットしたメディアと合っているかどうか確認してくださ
	ر <i>۱</i> °
メディアが正しくセットされているか	メディアを正しくセットしてください。
	(🛄 42 ページの 「メディアを本機に取り付ける」)
キャリッジの経路に、キャリッジ移動	異物を取り除いてください。
の障害となるもの(異物)が挟まって	(🛄 213 ページの 「メディアジャムの処理のしかた」)
メディア搬送経路に、メディア搬送	異物を取り除いてください。
の障害となるもの(異物)が挟まって	(🛄 213 ページの 「メディアジャムの処理のしかた」)
いないか	
吸着ファンの吸着力が適切か	吸着ファンの吸着力を弱くしてみてください。
	(🛄 164 ページの 「メディアの張り付きやしわをなくしたい」)
ヒーター設定温度が適切か	ヒーター設定温度を下げてみてください。
	(🛄 198 ページの 「ヒーターの設定をする」)

画質が悪い

□ 230 ページの「こんな症状が出たら」 を参照してください。

白紙がでる

点検/確認項目	対処方法
印刷しているデータの確認	白紙データを送信していないか、印刷しているデータを確認してください。

メディアのセットができない

□ 50 ページの「透明なメディアおよび、裏側が黒いメディアの取り付け手順」を参照してください。

点検/確認項目	対処方法
USB 接続スピード	データの転送スピードが遅いとデータを待つためにプリントヘッドをキャップして
	「待機します。
	USB の転送スピードを確認してください。フルスピード接続の場合は、ハイスピー
	ド接続になるようにコンピュータとの接続環境を変更する事で、改善できます。
	(🛄 154 ページ 「USB の接続状態を確認したい」)
	・USB ケーブルを接続しなおしてください。
	・USB2.0 のポートに接続してください。
	・ドライバーをインストールしなおしてください。
	・USB ケーブルをハイスピード対応品にしてください。
	・ハブを使用している場合は、ハブをハイスピード対応品にしてください。

の印刷が遅い(印刷の途中で頻繁にプリントヘッドがキャップされる)

	対処方法
高温環境	ヘッド温度が高いと(40℃以上)、印刷速度を落として印刷します。 室温を推奨
	温度(20~25℃)にして1時間以上経過してから印刷してください。
他に USB で大量のデータを転送	USB で接続している他の機器をはずしてみてください。
する機器を接続していないか	
コンピュータのスペック	C使用の RIP ソフトウエアの推奨動作環境を満たすコンピュータを使用してくだ
	さい。
	推奨動作環境につきましては、ご使用の RIP ソフトウエアのメーカーにお問い合
	わせください。
コンピュータが他の作業をしていないか	他のアプリケーションソフト(ウイルス対策ソフトなど)を終了させてください。

メニュー表示が他国語になってしまった

点検/確認項目	対処方法		
言語設定	(MENU) キーを押しながら、電源スイッチを入れ、本機を立ち上げてください。		
	言語設定メニューが表示されますので、表示したい言語を設定してください。		

ノズル詰まりが回復できない

点検/確認項目	対処方法
メディアの端部にほつれがないか	メディアエッジガードからはみ出るようなほつれがある場合、ヘッドのノズル面に
	あたり、ノズル詰まりが発生する場合があります。
	はさみやカッターなどで、ほつれをカットしてからメディアをセットしてください。
PVC の糊が剥がれてメディアが	浮いている部分は、フィードして送り出してください。
浮いていないか	
メディアがしわになって浮いていないか	吸着ファンを強に設定し、浮きを抑えてください。
	プリントヒーターの温度を下げて、浮きを抑えてください。
プラテンにメディアが貼りついて	吸着ファンを弱またはオフにしてメディアを送れるようにしてください。
浮いていないか	メディアオクリモードをヒキハガシジャクにすると貼りつきが抑えられる場合があ
	ります。
日常メンテナンスの確認	日常メンテナンスを定期的に実施しているか確認してください。



1

7	メディアシ ャムエラーデス	
	レハ゛ーヲアケ゛テクタ゛サイ	

ガイダンスメッセージが表示されます。

X:メディアジャムの種類 意味	
1:メディアジャム1	キャリッジの動作経路に障害物があり、本機が正常に駆動できません。
2:メディアジャム 2	異型のメディアを使用しているため、メディアが正しく検出されていません。



ジャムをおこしたメディアを取り除き、キャリッジの経路およびメディア搬送経路に障 害物がないことを確認します。

(\注意

◆ ロールメディアの場合、ロールを一旦巻き戻してください。





メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー





フロントカバーを閉めます。

キャリッジがホームポジションに移動します。

メディアをセットし直します。

(🖽 42 ページ)

⚠注意

◆ メディアジャムにより、プリントヘッドとメディアが擦れて印刷抜けになる場合があります。その場合はプリントヘッドのク リーニングを実施してください。(□ 192 ページ)

エラーメッセージが表示されたとき

エラー LED が点灯しているときは、まず LCD に表示されているメッセージを確認してください。 エラーメッセージは、次に示す 2 つに分類できます。

サービスコールエラー:

ハードウェア, ソフトウェアの故障など、オペレータ(お客様自身)が処理できないエラーです。 販売店またはサー ビス拠点にご連絡ください。

オペレータコールエラー:

オペレータ(お客様自身)が処置できるエラーです。 メッセージに従って処理してください。

以降に示すメッセージは、エラーメッセージです。 LCD に表示されているエラーメッセージに従って適切な処置をしてください。



まずは本機の再立ち上げを

◇ サービスコールエラーが表示された場合は、以下の作業を行ってみてください。エラーが解除される場合が あります。

- ① 操作パネルの電源スイッチおよび本機背面の主電源スイッチをオフする。
- ② 電源コードをコンセントから抜き、次に、本機背面の電源インレットからも電源コードを抜く。
- ③ 1分以上放置する。
- ④ 電源コードを上記のインレットに挿し、次にコンセントに挿す。
- ⑤ 上記のスイッチをオンにする。

<システムエラー>

システムエラー nnnn	意味	対処できないエラーが発生しました。
サイキト [*] ウシテクタ [*] サイ nnnn:エラーコード	処置	販売店またはサービス拠点までご連絡ください。 合わせて、表示されているエラーコードもお知らせください。

知



■ 準備



⚠注意

◆ 上記 1、2、3 は、シートマウントクリーニングキット A (IP6-261)の付属部品です。

◆ 上記 1、2 の使用済み品は廃棄しないで、シートマウントクリーニング作業に再利用してください。



電源を OFF にしてください。

フロントカバーを開けてから、キャッピン グユニットカバーを開けます。

スポイトを使用してシートマウント洗浄液 を 1ml 吸い上げます。


チェーンの下図(a)部にスポイト先端を 差し込んでから、シートマウント洗浄液を 注入します。

同様に、指示部(b)、(c)、(d)、(e) に ついても各箇所 1ml ずつシートマウント洗 浄液を注入します。



5



5分間そのまま放置します。

知っておきたいこと



クリーニング棒の柄をチェーンの左図(b) 部に差し込み、そのままの状態で矢印方向 に(d)部まで移動します。

キャッピングユニットカバーを閉めてから、 フロントカバーを閉めます。

電源を ON にしてください。

プリンターがシステムエラー 2320 を発生することな く起動すれば、作業終了です。 ◆オペレータコールエラー

以下に示すエラーメッセージは、オペレータ(お客様自身)が処置できるエラーです。

<インク関係>

インクホ゛ックスカハ゛ーヲ	意味	インクボックスカバーが開いています。
シメテクタ゛サイ	処置	メッセージに従って処置してください。
CC インクカ セットサレテイマセン	意味	インクカートリッジが未装着です。
インクカハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ	処置	メッセージに従って処置してください。インクカートリッジが装着
CC:インク色		されているのに本メッセージがでる場合は、装着不良の可能性が
		あります。インクカートリッジが止しく挿入されているか確認してく
		1590.
(インクボックスカバーを開けた場合)	音味	インクカートリッジが未装差です
0.04227		メッセージに従って如置してください。 インクカートリッジが装着
・ セットシテクタ [*] サイ		されているのに本メッセージがでる場合は、装着不良の可能性が
		あります。インクカートリッジが正しく挿入されているか確認してく
		ださい。
CC インクカ゛ニンシキテ゛キマセン	意味	インクカートリッジに異常が発生しました。
インクカハーヲ アケテクダサイ nn		または、純正インクカートリッジを認識できませんでした。
nn:インクエラーコード	処置	メッセージに従って処置してください。表示されているエラーコー
CC:インク色		ドをお手元に控えておいてください。
(インクボックスカバーを開けた場合)	意味	インクカートリッジに異常が発生しました。
CCインクヲ		または、純正インクカートリッジを認識できませんでした。
カクニンシテクタ サイ NN	処置	メッセージに従って処置してください。表示されているエラーコー
nn:インクエラーコード		ドをお手元に控えておいてください。
CC:インク色		
·····································	意味	インクがなくなりました。
インクカハ゛ーヲ アケテクダサイ	<u> </u>	メッセージに従って処置してください。
<u> CC:インク色</u>		(〇 205 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)
(インクボックスカバーを開けた場合)	意味	インクがなくなりました。
CCインクヲコウカンシテクタ゛サイ	処置	メッセージに従って処置してください。
		(🗀 205 ページの 「インクカートリッジの装着・交換」)
 CC:インク色		
	音味	インクカートリッジの色が間違っています。
		正しい色のインクカートリッジを装装! アイギオい
		エレットロットノンガートソノノで衣有してくたらい。

CC:インク色

印刷する前に

(インクボックスカバーを開けた場合)	意味	インクカートリッジの色が間違っています。
インクノイロカ゛チカ゛イマス	処置	正しい色のインクカートリッジを装着してください。
C C インクヲカクニンシテクタ゛サイ		
CC:インク色		
CC インクノ シュルイカ チカ イマス	意味	インクカートリッジの種類が間違っています。
インクカハ゛ーヲ アケテクダサイ	処置	正しい種類のインクカートリッジを装着してください。

CC:インク色

(インクボックスカバーを開けた場合)

インクノ	シュルイカ゛チカ゛イマス
CCインク	ヲカクニンシテクタ゛サイ
<u> </u>	

意味	インクカートリッジの種類が間違っています。
処置	正しい種類のインクカートリッジを装着してください。

CC:インク色

<廃インクボトル関係>

「 ホ゛トルヲセットシテクタ゛サイ	意	味	廃インクボトルがセットされていません。
	処	置	メッセージに従って処置してください。
			(🛄 109 ページの 「廃インクボトルのチェックと交換」)

「ハイインクホ [*] トルヲ	意味	廃インクボトルがいっぱいです。
コウカンシテクタ゛サイ	処置	メッセージに従って処置してください。
		(🗀 109 ページの 「廃インクボトルのチェックと交換」)

<メディアジャム(メディア詰まり)>

メディアシ゛ャムエラーテ゛ス 1 レハ゛ーヲアケ゛テクタ゛サイ	意味	キャリッジの動作経路に障害物があり、本機が正常に駆動できな い場合に発生します。
	処置	メッセージに従って処置してください。 なお、実際にメディアジャム (メディア詰まり)が発生していない、 またはキャリッジの経路に障害物がないにもかかわらず、何度も 発生する場合は、販売店またはサービス拠点に連絡してください。 (①213ページの「メディアジャムの処理のしかた」)

メディアジャムエラーデス 2 レハ・一ヲアケ・テクタ・サイ	意味	異型のメディアを使用しているため、メディアが正しく検出されな い場合に発生します。
	処置	メッセージに従って処置してください。 また、設定内容の確認も行なってください。 (〔〕 213 ページの「メディアジャムの処理のしかた」)

<メディア関係>

レハ゛ーヲアケ゛テ	意味	メディアが無くなった場合に発生します。
メテ゛ィアヲセットシテクタ゛サイ	処置	新しいメディアをセットしてください。
		(🛄 42 ページの 「メディアを本機に取り付ける」)

゙メテ゛ィアヲセッ	トシテクタ゛サイ
-----------	----------

意味	メディアを確認できない場合に発生します。
処置	メディアセットしてください。
	(🛄 42 ページの 「メディアを本機に取り付ける」)

(〇〇42ページの「メディアを本機に取り付ける」)

	~~ 마	無効わせくブ(64 くいく 幅せくブリート) のくごくつがわいしなわた
メディアハハ・ノ エラーティス	息味	無効なり1人(041ノナ幅り1人以上)のメナイアがセットされま
メテ゛ィアヲカクニンシテクタ゛サイ		した。
	処置	正しいサイズのメディアをセットしてください。
		(🛄 42 ページの 「メディアを本機に取り付ける」)
(メデ゛ィアスキュー エラーテ゛ス	意味	メディアのスキューが発生しました。
メテ゛ィアヲサイセットシテクタ゛サイ	処置	メディアを正しくセットしなおしてください。
		なお、スキューの発生状況によっては、プラテンにインクが付着し
		ている可能性があります。その場合はプラテン上のインクをきれい

スキューヲケンシュツシマシタ	意呀	ŧ	印刷中にスキューが検出されました。
インサツ ソ`ッコウ/チュウシ		5	印刷を続行するかまたは中止してください。

に拭き取ってください。

<プリントヘッド関係>

ヘット゛レイキャクチュウ シハ゛ラクオマチクタ゛サイ	意味	本機は安定してインク吐出をさせる為にプリントヘッドの温度を監 視しています。 監視温度が 43℃を超えると保護装置が働き一次停 止します。
	処置	環境温度を15℃~30℃にして、プリントヘッドの温度が上昇しな いような環境を保ってくご使用ください。 印刷を中止する場合は、CANCEL キーを押して下さい。
ヘット゛オント゛カ゛タカスキ゛マス	意味	ヘッド温度が本機の使用温度範囲外(高温)です。
インサツ カイシ/チュウシ 🔘	処置	環境温度を15℃~30℃にして、プリントヘッドの温度が上昇しな いような環境を保ってくご使用ください。
		印刷を開始する場合は、 (*)キーを押してください。 印刷を中止する場合は、 CANCEL キーを押してください。
ヘット゛レイキャクチュウ ヒョウシ゛ュン ND BI	意味	本機は安定してインク吐出をさせる為にプリントヘッドの温度を監 視しています。 監視温度が 40℃を超えると保護装置が働き、一次 停止します。
	処置	環境温度を15℃~30℃にして、プリントヘッドの温度が上昇しな いような環境を保ってくご使用ください。ヘッド温度が下がると、

<通信関係>

「 デ [*] ータカ [*] オクラレテキマセン	意味	印刷データ転送中に USB 接続の異常 (ケーブル切断)が検出さ
ー セツゾ`クヲ カクニンシテクタ`サイ		れた場合に表示します。
	処置	USB ケーブル接続を確認してください。

自動的に印刷を再開します。

知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メニューツリー

ふろく

221

(デ [*] ータノ ジ [*] ュシンカ [*] チュウタ [*] ン サレマシタ	意	味	印刷データの転送中にタイムアウトが発生したが、本機側の不具合 ではないと思われる場合に表示します。
	処	置	USB ケーブル接続を確認してください。

<その他>

カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ	意味	フロントカバーが開いています。
	処置	メッセージに従って処置してください。
「インクヲシ [*] ュウテンシテクタ [*] サイ	意味	インク充填が終了していない時に、クリーニングや印刷を実行す
		ると表示されます。
	処置	インク充填が実施されるまではクリーニングや印刷は行えません。
		インク充填を実施してください。
(マニュアル チョウセイヲ n)	意味	自動印刷調整を行うことができなかった場合に発生します。
シ゛ッコウシテクタ゛サイ	処置	メッセージに従って処置してください。
n: IƏ-J-K		(□ 77ページの「◆自動印刷調整が実行できない」 をご確認 ください。)
「ハハ`ノヒロイメテ`ィアヲ	意味	自動ノズルマップを実行した際に、メディアの幅が 762mm (30
セットシテクタ サイ		インチ)未満のメディアがセットされている場合に発生します。
	処置	自動ノズルマップを実行する際は、762mm (30 インチ)以上の
		メディアをお使いください。
		(□ 107ページの「◆自動設定でエラーが発生する場合」 をご 確認ください。)
「ノス゛ルマッフ゜ヲマニュアルテ゛ n	意味	自動ノズルマップを行うことができなかった場合に発生します。
□ ニュウリョクシテクタ サイ ○	処置	メッセージに従って処置してください。
n:エラーコード		(□ 107 ページの「◆自動設定でエラーが発生する場合」 をご 確認ください。)
「ジドウノズルマッフ゜エラー	意味	自動ノズルマップを実行した際に、エラーが発生しました。
LC LM CYKMGy 🔘	処置	自動ノズルマップのエラー印刷結果に従って処置してください。
		(□ 107 ページの「◆自動設定でエラーが発生する場合」 をご 確認ください。)
シッオンヲ アケ・テクタ・サイ	意味	室温が本機の使用温度範囲外(低温)です。
 テキオンニナルマテ [*] オマチクタ [*] サイ	処置	本機の使用温度範囲内(15℃~30℃)でお使いください。
		印刷を中止する場合は、CANCEL キーを押して下さい。
		印刷を中止する場合は、CANCED キーを押して下さい。
「シツオンカ [*] タカスキ [*] マス		印刷を中止する場合は、 CANCEL キーを押して下さい。 室温が本機の使用温度範囲外(高温)です。
		印刷を中止する場合は、 CANCEL キーを押して下さい。 室温が本機の使用温度範囲外(高温)です。 本機の使用温度範囲内(15℃~30℃)でお使いください。
シッオンカ`タカスキ`マス インサッ カイシ/チュウシ ©	<u>意</u> 味 処置	印刷を中止する場合は、CANCEL キーを押して下さい。 室温が本機の使用温度範囲外(高温)です。 本機の使用温度範囲内(15℃~30℃)でお使いください。 印刷を開始する場合は、(%)キーを押してください。

シッオンヲ	サ	ゲテク	タ゛サ	1
ヒョウシュ	ン	ND	ΒI	

意味	室温が本機の使用温度範囲外(高温)です。
処置	本機の使用温度範囲内(15℃~30℃)でお使いください。 周囲温度が下がると、自動的に印刷を再開します。

シツオンヲ アゲテクタ゛サイ	意	味	本機を設置している室内の温度が低すぎます。
	処	置	室温を5℃以上にしてお使いください。

シツオンヲ サゲテクタ゛サイ	意 味	本機を設置している室内の温度が高すぎます。
	処置	室温を35℃以下にしてお使いください。

	意味	本機でエラーを検出しました。
シパラクオマチクタ゚サイ	処置	エラーメッセージに切り替わるまでしばらくお待ち下さい。 5分以上待っても表示が切り替わらない場合は、本機を再立ち上 げしてください。

知っておきたいこと

メディアをセットする

ふろく

困ったときは・・・

スキューが検出されたとき

本機は、メディア登録でスキューチェックがオン設定になっている場合、一定印刷長毎にメディアのスキューチェックを行います。規定以上のズレを検出した場合、プリントポーズモードになり、印刷を続行するか、中止するかの選択画面を表示します。



ガードから外れたり、メディアジャムになる可能性があります。 したがって、その後の印刷が長いとズレが大きくなり、本機が故障する恐れがあるので"チュウシ"を選択す ることをおすすめします。

警告メッセージが表示されたとき

警告すべき情報がある場合、エラー LED 🥂 が点滅します。オンライン印刷終了後、以下のような警告メッセー ジが表示されます。

表示されたメッセージに従って適切な処置をしてください。



知

っておきたいこと



コウカン シテクタ・サイ

 意味	ワイパースポンジの寿命が近づいてきたときに表示

コウカン シテクタ・サイ

意	味	ワイパースポンジの寿命が近づいてきたときに表示されます。
処	置	ワイパースポンジを交換してください。

印刷抜け(ノズル詰まり)を 回復させる

日常メンテナンスを実施し、「ノズルマップ」を設定した後も印刷抜けが発生する場合は、以下の作業を実施し てください。



ふろく

知

っておきたいこと



クリーニングするヘッドグループを選択し ます。

インクの色とヘッド番号は、下表のように対応しています。

ヘッドグループ 1		ヘッドグループ 2		ヘッドグ	ループ 3	
Lc	Lm	С	Y	К	М	Gy
1	2	3	4	5	6	7

- ① \bigcirc 、 \bigcirc キーででプリントヘッド番号を選択しま
- ② (◇)、(◇) キーで番号を表示または非表示にします。 クリーニングしたいプリントヘッド番号を表示させて ください。



参考

◇ 前回のクリーニング実施から一定距離の印刷を 行っている場合は、個別にヘッドを選択してのク リーニングはできません。

(ок)キーを押します。

左の例は、C、Y、K ヘッドと、M、Gy ヘッドをクリー ニングします。

(ок)キーを押します。

廃インクボトルが一杯になっていないことを目視で確認 します。

クリーニングが始まります。

クリーニング動作は数分かかります。 クリーニングが始まると、完了までの残り時間が表示さ れます。 残り時間表示は、10秒ごとに更新されます。

クリーニング終了。

終了後、開始時の状態に戻ります。 ・オンラインアイドル・オンライン:オンラインへ遷移 ・印刷中:印刷を再開

・ポーズ中:ポーズ状態のまま





知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

こんな症状が出たら

ここでは、お客様が本機を使って、より良い画質を得るためのヒントを説明します。印刷物の症状に従って対処 してください。

1症状に対して複数の対処方法が記載してある場合、効果が大きいと予想される方法から順に記載しています。 1番目から優先に行い、改善効果を確認する事を推奨します。(記載してある全ての対処方法を実行しなければ 改善しないという事ではありません。)

◆ 印刷が薄い

原因	対処方法
高濃度プロファイルを使用していない	電飾メディアなどの高濃度印刷を必要とする場合には、高濃度用のプロファイル
	を使用して RIP してください。 RIP ソフトウェアの設定を確認してください。
使用環境が本機の仕様外である	室温を 15℃以上(推奨温度:20 ~ 25℃) にあげ、本機を十分に暖気してください。
RIP のメディア種類選択が適正では	RIP 時のメディア設定を確認してください。
ない	

◆ 印刷がかすれる、 ざらつく

原因	対処方法
往復、送り調整値が適正でない	①往復調整、送り調整を再度実施してください。
	②自動調整を実施済みの場合は、マニュアル調整を行ってください。

◆ 印刷開始時に印刷抜けが発生する

原因	対処方法
使用温湿度範囲外	使用温湿度範囲内で使用してください。 (🛄 22 ページ)
	プラテン上、メディアエッジガード、キャッピングユニット、ワイパーブレード、加
付着している	圧ローラー、ヘッドガードを確認し、ゴミ・汚れ等を取り除いてください。
	メディアのほつれた糸クズがプリントヘッドにこずれて印刷抜けが起こることがあ
	ります。糸クズのないメディアに交換してください。
ノズル面がメディアにこすれてしまった	通常クリーニングを実施してください。
	回復しない場合は 🛄 227 ページの作業を実施してください。
クリーニングが正常に行えていない	日常メンテナンスを実施してください。
	キャップクリーニングを実施してください。

◆ メディアにシワ・カールが発生する

原因	対処方法
使用温湿度範囲外	① 使用温湿度範囲内で使用してください。
	※ メディアによっては、使用温湿度範囲内でもシワが発生します。
	② 実績のあるメディアを使用してください。
メディアが環境に馴染んでいない	メディアの保管環境とプリンターの使用環境が異なる場合は十分馴染ませてくだ さい。
	※ 馴染ませる時間は、メディアの種類や保管環境により異なります。
メディアのセット不良	以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。
	・ プリンターに対してメディアが垂直にセットされているか、確認する。
	・ 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。
	・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。
	 ・ 装置前方に排出されたメディア先端を、巻き取り紙管にまっすぐセットされているか、
	確認してください。
ヒーターの熱によるシワ	① ヒーター加熱中にシワが入る場合、ヒーター加熱を事前に行ってからメディア
	をセットしてください。
	② ヒーター温度を変更してください。3ヒーターとも一律に5℃刻みで下げてく ださい。(注1)
	③ 実績のあるメディアを使用してください。
	④ 皺がなくならない場合は、皺がなくなるまでフィードしてください。
	⑤ 印刷ジョブ間で毎回皺が発生する場合、メディア送りモードを変更してください。
メディアのカール	① メディアの縦方向(X方向)にカールが発生するメディアは使用しないでくだ さい。
	② メディアの左右端(Y 方向)のカールが発生し、メディアエッジガードと吸着ファ
	ンで抑えきれないメディアは使用しないでください。
	③ 実績のあるメディアを使用してください。
メディア登録の吸着ファン設定が弱い	メディア登録の吸着ファンの設定を強くしてください。
搬送によって発生する皺	① メディアを一度取り外し、再度プリンタにセットしなおしてください。
	② 実績のあるメディアを使用してください。

(注1)送り調整値の再調整が必要です。

メニューツリー

ふろく

知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス















【症状B】

【原因】 プリントヘッドのノズル 詰まり





【症状C】

【原因】 メディアとの相性が悪い

【参考】	
カラーストライプを	
つけると全色で白ス	
ジが発生	
270 JUL	

原因	対処方法
【症状A】 送り調整値が合っていない	 送り調整値を合わせてください。 ※巻き取り方式がたるみ巻き / テンション巻きの違いにより、調整値が異なります。 ・ 巻き取り方式 (たるみ巻き / テンション巻き)を変更した場合、送り調整値の再調整が必要です。 ・ 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変更した場合、送り調整値の再調整が必要です。 ・ メディア登録の吸着ファン設定を変更した場合、送り調整値の再調整が必要です。
【症状A】 メディア送りの精度が悪い / 安定しない	 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 プリンターに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変えてください。(注1) より遅い印刷モードに変更してください。(注1)、(注2) 給紙ロールと加圧ローラーの間でメディアが弛んでいないか確認してください。 ※ 弛んだ状態で送り調整値の調整を行うと、調整値がずれる場合があります。
【症状B】 プリントヘッドのノズル詰まり	 ① ノズルプリントを印刷し、抜けノズルをノズルマップで入力してください。 (□ 99 ページ) ② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや 垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除い てください。 ③ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発 生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。 ④ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、メディアエッジガードの清掃も忘れずに行ってください。 ⑤ シートマウントクリーニング (□ 122 ページ) で、プリントヘッド面を清掃し てください。 ◇ カラーストライプをつけて印刷する事で印刷抜けが発生しにくくなります。 (□ 162 ページ)

【症状 B】 プリントヘッドのノズル偏向	 ノズルプリントを印刷し、曲っているノズルをノズルマップで入力してください。 (□ 99 ページ) カラーストライプをつけて印刷することで、偏向が発生しにくくなります。 (□ 162 ページ)
【症状 C】 メディアとの相性が悪い (ドットが広がりにくいメディア)	 1 ヒーター温度を下げてください。3ヒーターとも一律5℃刻みで下げてください。 (注 1) ※ 印刷する前にヒーター温度が変更した温度まで下がっていることを確認してください。 ※メディアによってはヒーター温度を上げて効果がある場合があります。 ② より遅い印刷モードに変更してください。(注 1)、(注 2) ③ 実績のあるメディアで印刷してください。 ④ 高濃度印刷を実施してください。

(注2)印刷速度は変わります。

知っておきたいこと

メディアをセットする





原因	対処方法
【症状A】 プリントヘッドのまわりが汚れている	 プラテン上や加圧ローラー、プリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。 メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。 日常メンテナンスを行ってください。 ホッドガード、メディアエッジガードの清掃も忘れずに行ってください。 シートマウントクリーニング(□122 ページ)で、プリントヘッド面を清掃してください。
【症状B】 双方向印刷によるインク吹出し順の 違い	 より遅い印刷モードに変更してください。(注1)、(注2)、(注3) 片方向で印刷してください。(注2) 実績のあるメディアで印刷してください。
【症状C】 送り調整値が合っていない	 送り調整値を合わせてください。 給紙ロールと加圧ローラーの間でメディアが弛んでいないか確認してください。 ※ 弛んだ状態で送り調整値の調整を行うと、調整値がずれる場合があります。 ・ 巻き取り方式がたるみ巻き / テンション巻きの違いにより、調整値が異なります。 ・ 吸着ファンの強さを変更した場合、送り調整値の再調整が必要です。 ・ 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変更した場合、メディア送り調整値の再調整が必要です。 ・ イオナイザーがオンの場合、オフ に切り替えてください。 ・ 自動調整を実施済みの場合は、マニュアル調整を行ってください。
【症状C】 メディア送りの精度が悪い / 安定しない	 ① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 プリンターに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ② 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変えてください。(注1) ③ より遅い印刷モードに変更してください。(注1) ③ より遅い印刷モードに変更してください。(注1) ⑤ イオナイザーがオンの場合、オフ に切り替えてください。

【症状D】 インクの乾きが遅い	① ヒーター温度を上げてください。3ヒーターとも一律5℃刻みで上げてください。 (注1)
(モタリング(ブリーディング)が	※ プリントする前にヒーター温度が変更した温度まで上がっていることを確認してくださ
発生している)	い。
	② より遅い印刷モードまたは、キャリッジ速度「テイソク」に変更してください。 (注1)、(注2)、(注3)
	 (注 2)
	④ 実績のあるメディアで印刷してください。
	⑤ RIP ソフトウェアのプロファイルでインク量が少ないプロファイルを使用する。
	※ 使用するインク量が変わるので、色味も変わります。

(注2)印刷速度は変わります。

(注3) キャリッジ速度設定を変更した場合には往復調整値の再調整が必要です。



原因	対処方法
【症状A】 インクのしぶき	 ① 使用温湿度範囲内で使用していることを確認してください。 ② 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、メディアエッジガードの清掃も忘れずに行ってください。 ③ クリーニング(キョウリョク)を行ってください。 ④ より遅い印刷モードまたは、キャリッジ速度「テイソク」に変更してください。 ③ シートマウントクリーニング(□ 122 ページ)で、プリントヘッド面を清掃してください。 ⑤ 「プリントヘッドタカサ」が「タカイ」設定の場合、「ツウジョウ」にして、ヘッド高さを下げてください。(注 4) ※「プリントヘッドタカサ」が「ツウジョウ」で問題のあるメディアの場合には、「ツウジョ
【症状B】 インクのボタ落ち	 ① 使用温湿度範囲内で使用していることを確認してください。 ② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや 垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除い てください。 ③ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発 生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。 ④ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、メディアエッジガード清掃も忘れずに行ってください。 ※ クリーニング(ツウジョウ)も忘れずに行ってください。 ※ キャップクリーニングを忘れずに実施してください。 ⑤ シートマウントクリーニング(□ 122 ページ)で、プリントヘッド面を清掃 してください。 ⑥ 静電気が発生しやすいメディアの場合、静電気が原因でインクのボタ落ちが 発生することがあります。このようなメディアではイオナイザー「オン」に設定 してください。(注 1) ⑦ ターポリン系のメディアでは、ほつれた糸クズがプリントヘッドにこすれて インクが垂れることがあります。

【症状C】 プリントヘッドのこすれ	 ① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンターに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。 ③ 日常メンテナンスを行ってください。 ③ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、メディアエッジガードの清掃も忘れずに行ってください。 ④ シートマウントクリーニング(□ 122 ページ)で、プリントヘッド面を清掃してください。 ⑤ メディア登録の吸着ファン設定を強く設定してください。(注 1) ⑥ イオナイザーがオンの場合、オフ に切り替えてください。
【症状 D】 加圧ローラーの汚れ	① 🛄 131 ページの手順に従って、加圧ローラーを清掃してください

(注2)印刷速度は変わります。

(注3) キャリッジ速度設定を変更した場合には往復調整値の再調整が必要です。

(注4) 往復調整値の再調整が必要です。

知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー



インク量が多い



原因	対処方法
【症状A】 インクの乾きが遅い / インク量が多い	 ビーター温度を上げてください。3ヒーターとも一律5℃刻みで上げてください。 (注1) ※ プリントする前にヒーター温度が上がっていることを確認してください。 より遅い印刷モードまたは、キャリッジ速度「テイソク」に変更してください。 (注1)、(注2)、(注3) 片方向で印刷してください。(注2) 高濃度の印刷モードで印刷している場合は通常濃度で印刷し直してください。 今までに実績のあるメディアで印刷してください。 RIPのプロファイルでインク量が少ないプロファイルを使用してください。 ※使用するインク量が変わるので、色味も変わります。
【症状B】 プリントヘッド位置のずれ / プリントヘッド往復位置のずれ	 プリントヘッドの位置調整を行ってください。(279 ページ) プリントヘッドの往復調整を行ってください。(285 ページ) 往復調整を自動調整で実施済みの場合、マニュアルで再調整してください。
【症状C】 送り調整値が合っていない	 送り調整値を合わせてください。送り調整を自動調整で実施済みの場合、マニュアルで再調整してください。 巻き取り方式がたるみ巻き/テンション巻きの違いにより、調整値が異なります。 吸着ファンの強さを変更した場合、送り調整値の再調整が必要になります。 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変更した場合、送り調整値の再調整が必要です。 イオナイザーがオンの場合、オフ に切り替えてください。 自動調整で調整を実施済み場合、マニュアル調整を行ってください。
【症状C】 メディア送りの精度が悪い/ 安定しない	 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 プリンターに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変えてください。(注1) より遅い印刷モードまたは、キャリッジ速度「テイソク」に変更してください。(注1)、(注2)、(注3) 給紙ロールと加圧ローラーの間でメディアが弛んでいないことを確認してください。 ※ 弛んだ状態で送り調整値の調整を行うと、調整値がずれる場合があります。 イオナイザーがオンの場合、オフ に切り替えてください。

【症状 D】 メディアに帯電した静電気による汚れ / メディアの白地がインクのミストで汚 れる
--

(注2) 印刷速度は変わります。

- (注3) キャリッジ速度設定を変更した場合には往復調整値の再調整が必要です。
- (注4) 静電気による汚れが発生しないメディアに対してはイオナイザー「オフ」に設定してください。



【基本イメージ】





【原因】 プラテン上、メディアの左端部 とメディアエッジガードの接点 が吸着穴近傍にある。

【症状B】



【原因】 プラテン上、メディアの右端部 とメディアエッジガードの接点 が吸着穴近傍にある。



11

メディアの位置をずらす例(2)

240 困ったときは・・・



【基本イメージ】





原因	対処方法
原因 メディアの送りがスキューしている タケノコ状の例 メディア シティア シティア シート メディア ションター メディア	 対処方法 タケノコ状、ヘこみがないか、ロール仕立てを確認し、ロール仕立てが悪けれ ば、仕立ての良いロールと交換してください。 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してくだ さい。 ブリンターに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」 の項目を参照してください。 番き取り側で巻きムラが発生していないか確認し、メディアの再セットと巻き 取り装置への再セットを実施してください。 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変えてください。^(注 1)
り 良い例	 ⑤ 加圧ロ アプアプランアン (加圧力を変えてくたとい。) ⑤ 実績のあるメディアを使用してください ⑥ 給紙側メディアホルダーがメディアの紙管に緩みなくささっていることを確認してください。 ⑦ 給紙側メディアホルダーが、シャフトに対してネジでしっかり固定されていることを確認してください。

(注1)送り調整値の再調整が必要です。



【基本イメージ】

ABCDE 🗇 ABCDE

【原因】

・使用しているメディアに対する送り調整値が適切でない。 ・メディアにシワやカールが発生している。

原因	対処方法
使用しているメディアに対する送り調 整値が適切でない。	 ① 送り調整を±0.3%の範囲で微調整することで改善される場合があります。 ① を実施しても改善されない場合は、以下を実施してください。 ② 印刷モードを変更してください。(注1)、(注2)
メディアにシワやカールが発生してい る。	メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生 する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。

(注1)送り調整値の再調整が必要です。

(注2)印刷速度は変わります。





メニューツリー



XXX テン:メンテナンス実施状況の得点

MM/DD hh:mm:クリーニング実施日時

知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー





D

知っておきたいこと メディアをセットする 調整する メンテナンス

Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*(登録マーク)が表示される XXX:現在のXディア残量 YYY:変更予定のメディア残量

Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*(登録マーク)が表示される YYY:変更予定の設定

Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*(登録マーク)が表示される YYY:変更予定の設定

メニューツリー 247

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー



Z : 登録マーク。メディアが登録されていると、★ (登録マーク) が表示される YYY : 変更予定の設定
Z:登録マーク。メディアが登録されていると、* (登録マーク) が表示される YYY:変更予定の設定
Z : 登録マーク。メディアが登録されていると、* (登録マーク) が表示される YYY : 変更予定の設定
Z : 登録マーク。メディアが登録されていると、*(登録マーク)が表示される YYY : 変更予定の設定
Z : 登録マーク。メディアが登録されていると、* (登録マーク) が表示される YYY : 変更予定の設定
Z : 登録マーク。メディアが登録されていると、* (登録マーク) が表示される YYY : 変更予定の設定
Z : 登録マーク。メディアが登録されていると、* (登録マーク) が表示される YYY : 変更予定の設定
Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*(登録マーク)が表示される XXXX:現在の設定 YYYY:変更予定の設定
Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*(登録マーク)が表示される XXXX:現在の設定 YYYY:変更予定の設定
Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*(登録マーク)が 表示される YYY:変更予定の設定
Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*(登録マーク)が 表示される YYYY:変更予定の設定
Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*(登録マーク)が 表示される YYYY:変更予定の設定
Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*(登録マーク)が 表示される YYY:変更予定の設定



Η´

MENU

YYYYYYYYY:変更予定の言語

yy/mm/dd hh:mi:ローカルタイムを表示 ZZZ:-12~+12 (全 25 段階の選択肢方式)。タイムゾーン時間

YYY:変更予定の設定

YYY:変更予定の設定

>>>>キャップオープン (ок) 🕩 || ‡ Y Y Y 0 YYY:変更予定の設定 >>>TUR オーフ°ン/タイムアウト ‡ Y Y Y © (ок) 🕩 YYY:変更予定の設定 >>>/>/ ; Y Y Y (ок) 🗭 0

YYY:変更予定の設定

YYY:変更予定の設定

YYY:変更予定の設定

XX:現在の設定 YY:変更予定の設定

YYYYYY:変更予定の設定

印刷する前に メディアをセットする 調整する メンテナンス 詳細な取り扱い方法 困ったときは・・・

メニューツリー





×ニューツリー **251**

印刷する前に

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー












к в	仕様/機能		
月 日	IP-6620		
記録方式	ピエゾ式カラーインクジェット記録方式		
解像度	(主走査方向) x (副走査方向) 360dpi x 180dpi x DDP, 360dpi × 360dpi × DDP, 540dpi x 360dpi × DDP, 540dpi × 540dpi × DDP, 720dpi x 720 dpi, 900dpi x 900dpi		
記録速度	23.9m ² /h 64 インチ幅、6パス 双方向(標準モード)		
給紙 / 排紙方向	背面給紙、前面排紙		
メディアの種類	塩ビ/ターポリン/電飾ターポリン(FF)/ソルベント用コート紙		
メディア幅	最大 64 インチ (1626mm)		
インクカートリッジ	ー般溶剤インク (7 色) (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、グレー) 各 1500ml		
インタフェース	USB2.0		
騷音	待機時 : 50dB (A) 以下 動作時 : 60dB (A) 以下 (連続音)給紙、巻き取りモーター音、インク供給中を除きます。		
発熱量	10368KJ/H		
作図保証領域	両端部から 5mm を除く部分 (メディアエッジガード使用時は 10mm)		
電源定格	AC200V - AC240V 12A 50Hz/60Hz		
電源入力範囲	AC180V - AC260V 50Hz/60Hz \pm 1Hz		
消費電力	2880W以下		
外形寸法	3095mm (W) \times 935mm (D) \times 1247mm (H) \pm 10mm		
質量	321kg ± 10kg (ロールメディアおよびインクは含みません)		
印刷保証範囲	20~25℃/40~60% RH (ただし結露しないこと)		
動作時温度/湿度範囲	15 ~ 30℃/ 30 ~ 70% RH (ただし結露しないこと)		
休止時、長期保存温度/湿度範囲	5 ~ 35℃/ 10 ~ 80% RH 以下 (ただし、結露しないこと)		
設置スペース	3900mm 以上 (W) × 3940mm 以上 (D) × 2200mm 以上 (H)		
保守スペース	6100mm 以上 (W) × 3940mm 以上 (D) × 2200mm 以上 (H)		



インクカートリッジ

1本入り箱

品番	インク色	インク容量
IP6-221	Y (イエロー)	1500 ml
IP6-222	M (マゼンタ)	1500 ml
IP6-223	C (シアン)	1500 ml
IP6-224	K (ブラック)	1500 ml
IP6-225	Lc (ライトシアン)	1500 ml
IP6-226	Lm (ライトマゼンタ)	1500 ml
IP6-227	Gy (グレー)	1500 ml
	アロトファレ ジャリナナ 子畑ル	にままにも聞くりまとい

地域毎に品番が異なることがあります。詳細は、販売店にお問合せ下さい。



◆ インクには、絶対に火気を近づけないでください。火災の危険があります。

◆ インクは飲んだり、目の中に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。 もし目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。 また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出させず直ちに医師の手当てを受けてください。

- ◆ 弊社指定のインクカートリッジ以外は絶対に使用しないでください。本機の故障の原因になります。
- ◆ インクの有効期間は、製造日より 18 ヶ月です。
- ◆ インクカートリッジは、使用の前に振ったりしないでください。
- ◆ インクカートリッジをインクトレイにセットし、6 色機は 6 スロット、7 色機は 7 スロット全てに装着してください。交換などで 取り外した後は、必ず新しいものを装着してください。

廃インクボトル

品番	内容物	容量
IP6-109	廃インクボトル	1 個



- ◆ 廃インクボトルには絶対に火気を近づけないでください。火災の危険があります。
- ◆ インクは飲んだり、目の中に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。 もし目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。 また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出させず直ちに医師の手当てを受けてください。

◆ 廃インクボトルが一杯になったら、付属のキャップを確実に締めて産業廃棄物として処理してください。

ふろく

日常メンテナンスキット A

品番	内容物	容量
	キャップクリーニング液 A	300 ml
	ワイパークリーニング液 A	200 ml
	クリーニング棒	10 本
IP6-271	クリーニング棒(大)	30本
	ピンセット	1 個
	ゴムブレード	2枚
	スポンジブレード	1枚

<u>小</u>警告

◆ 液は、飲んだり目の中に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。 もし目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。また、誤って飲み込んだ場合は、無 理に吐き出させず直ちに医師の手当てを受けてください。

キャッフ	パクリーニング液 A		洗
品番	内容物	容量	品
IP6-272	キャップクリーニング液 A (300 ml)	1本	IP6
			洗
ワイパー	-クリーニング液セット A	A	品
品番	内容物	容量	IP6
IP6-251	ワイパークリーニング液 A (200 ml)	3本	ワイ
クリーニ	ング棒		品 IP6
品番	内容物	容量	
IP6-147	 袋	<u>300本</u> 6包	ワー
			品
保管液も	zットA		IP6
品番	内容物	容量	
IP6-256	保管液カートリッジA	6本	ク
保管液t	zットA		品 IP7
品番	内容物	容量	
IP6-257	保管液カートリッジA	7本	イン
<u> </u>	Ī		品 IP7
 ◆ 保管液セ ◆ 使用期間 に影響を 	zット A の使用期限は、製造日より 見を過ぎた保管液セット A を使用 モ与えるばかりでなく、プリンター) 24 ヶ月です。 すると、画質等 の故障の原因と	

洗浄液セットA

品番	内容物	容量
IP6-254	洗浄液カートリッジ Α	6本

洗浄液セットA

品番	内容物	容量
IP6-255	洗浄液カートリッジA	7本

ワイパースポンジ

品番	内容物	容量
IP6-258	ワイパースポンジ	1個

ワイパーブレード

品番	内容物	容量
	ゴムブレード	2個
120-209	スポンジブレード	1個

クリーニング 棒(大)

品番	内容物	容量
IP7-264	クリーニング棒(大)	120本

インクトレイ

品番	内容物	容量
IP7-123	インクトレイ	1個

なります。

手袋セット

Į

品番		内	容	物	容量
IP7-138	手袋				100 個 (50 組)

メディアカッターブレード

品番	内容物	容量
IP5-124	メディアカッターブレード	1 個

シートマウントクリーニングキット A

品番	内容物	容量
IP6-261	ヘッドクリーニングシート	12 枚
	キャップクリーニングシート	12 枚
	シートマウント洗浄液 A (100 ml)	3本
	スポイト	3本
	手袋	24 個 (12 組)

ふろく



エキゾーストアタッチメント (IP7-013)

本機に排気ダクトを取り付けるためのユニットをオプションとして用意しています。 推奨の風量は以下の通りです。 1.0 ~ 1.3CMM (風速 2.5 ~ 3.2m/s) *CMM = Cubic meter per minutes



カッターユニット(64)(IP6-010)

メディアをカットするオプションです。



2インチフランジ(IP5-261)

2インチ紙管のロールメディアをセットするためのフランジです。





故障、修理、保守サービスについては、販売店またはサービス拠点にお問い合わせください。 https://japan.mimaki.com/

◆ 本機に関するお問い合わせ

本機に関するお問い合わせは、販売店までご連絡ください。

株式会社ミマキエンジニアリング 〒 389-0512 長野県東御市滋野乙 2182-3 https://japan.mimaki.com/

ふろく



47106001EE Rev10